

2022年10月1日



月刊

もぐら通信

2025年10月1日 第160号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

電話
042-ABE-KOBO

FAX
042-KOBO-ABE



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板...page 3
- 3 巻頭詩（4 5）：A Problem：ロバート・コンクエスト.....page 8
- 4 コーボー・ベーシックス **kobo basics**（6）：花田清輝.....page 1 4
- 5 『都市への回路』論（1 5）：（2）演劇について：④デジタルとアナログ.....page 2 1
- 6 SFで思考するための本棚（8）：古事記SF論（3）：1。神話と小説の関係/2。小説と古事記の関係.....page 2 8
- 7 遁走倶楽部（2）：エピチャム語から本邦初の翻訳 S・カルマ氏 [翻訳] 岩田英哉.....page 3 1
- 8 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（9）：4.1.5 武器とは何か1page 4 6
- 9 ネット・モナド論（3 3）：I プーチンは何を考へてゐるか6：何故バイデンが金の市場からプーチンのロシアを締め出しても逆効果でダボスのthe Great Resetが我が身にブーメランになつて帰ってくるのか.....page 4 2
- 1 0 カフカの箴言（7）：一番効果のある、悪事をする誘惑.....page 5 2
- 1 1 ショーペンハウアーの箴言（1）：健康はすべてではない、しかし、.....page 5 3
- 1 2 糞尿と性愛の文学-生殖器・排泄器同一社会論仮説-（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1. 1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 1 3 高天原便り（6）：高天原のジェダイの騎士.....page 5 4
- 1 4 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（3 4）：5.3 6 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？page 5 7
- 1 4 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（1 2）：扇... page
- 1 5 東ドイツ回想記（2）：何故わたしは東ドイツに行つたのか... 5 3 page
- 1 6 編集方針.....page 6 8



The best tweets of the month



該当なし



該当なし

今月の第四間氷期

盛林堂書房@seirindou-Sep 9

安部公房『第四間氷期』早川書房・特装本

表紙はハード表紙、カバーが別途付けられています。見返しには、ペンでの献呈署名。



某D氏に見せて頂いて、一度は扱って見たかった本。

今月の洪水

深沢真一@doragodon・Sep 10

「ブロボ/宇宙からの不明物体」アナログ特撮最高。

高校時代に自主製作仲間の友人と、安部公房の「洪水」映画化を計画。

撮影方法のアイデアを色々出し合ったのを思い出します。



今月の上演友達

向暁子@akatsukinimukau・

Sep 9

劇団銅鑼ラボ企画

『友達』

作/安部公房 演出/野崎美子

本日から立ち稽古開始



【劇団銅鑼】金子幸枝・鶴田尚子
長谷川由里・福井夏紀・向暁子

主 演 プロジェクトYu-Ka
協 力 劇団銅鑼/劇団 登

2022年10月26日(木)~30日(日) 劇団銅鑼アトリエ

2022年	10/26(木)	10/27(木)	10/28(金)	10/29(土)	10/30(日)
14:00開演	●	●	●	●	●
19:00開演	●	●	●	●	●

●料金 一般 3,800円(日特限定・全席自由・税込)
※未成年の入場は保護者お申し込み下さい

大人数がアクティグエリアを埋め尽くす自分の居処を求めて、あっちへフラフラこっちへフラフラのお申込みは、直接自分へご連絡いただいで大丈夫です。よろしくお祈いします!!



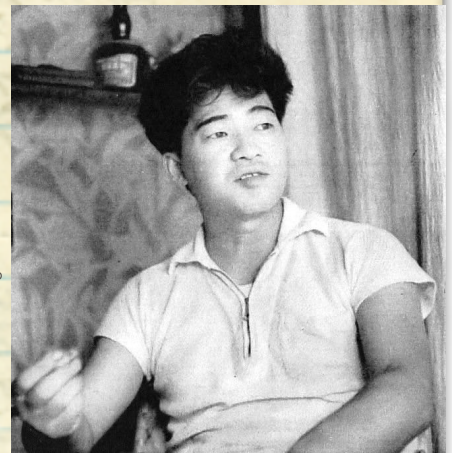
今月の安部公房

昭和平成ガイド@showa_g・Sep 8

昭和を振り返る画像。

『安部公房の若い頃（30歳ごろ。『毎日グラフ』1954年9月1日号より）』

プロフィールは→<https://showa-g.org/men/view/68>



今月のシャボン玉の皮

madeleine@storyforf・Sep 8

それは人間の恥部に似ている。虚しく、壮麗で、ただ存在することによってあらゆる意味を圧倒してしまう。当然のことだ。「有用性」が「廃物」に負けることはありえても、「廃物」が「有用性」に屈服したりすることはまず不可能だろう。


——安部公房「シャボン玉の皮」

今月の勅使河原宏

永田 誠@nagatamako・21h

『勅使河原宏カタログ』草月出版。1982.11.10 署名入り。「ひろし」という人には、才能豊かな人が多い気がする。そんな人が、知人だけでも五指に余る。安部公房・原作の映画『砂の女』も彼が監督した。

今月の密会

頭木弘樹  UC『食べることと出すこと』『ひきこもり図書館』『366日 文学の名言』@kafka_kashiragi・Sep 6

カフカの『変身』を初めて読んだとき、三人称（彼）で書かれているのに、一人称（私）で書かれているかのようで、その不思議さにひきつけられた。

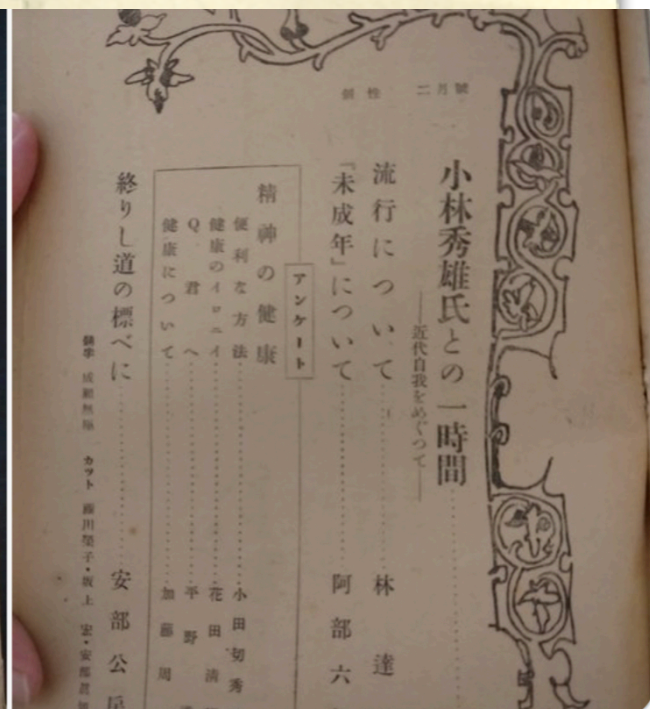
安部公房の『密会』はさらに、「ぼく」が三人称を使って書く設定になっている。だから、ぼくを意識しながら彼の話を読むことに。



今月の終りし道の導べに

活字で生きる@DCnnEVcGCZkSQ4U・Sep 10

今回のマド展いちばんの収穫！安部公房の処女作掲載雑誌…！



今月のヤマザキマリ

Satoshi YAMASHITA@satoshiimoshita

ヤマザキマリ『壁とともに生きる わたしと「安部公房」』
(NHK出版新書)を読む。

今月の安部公房論

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・3h

物質と思考の運動：安部公房の「砂の女」における
シュルレアリスムの技法とその変容(日本語日本文学特集)

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520853833536504448>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・15h

自由と反復：安部公房『砂の女』論(特集 変容する欲望：
高度経済成長期を読む)

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1523951029759692800>



詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・19h
流動と反復--安部公房『砂の女』の時間
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520290882889926528>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 11
狂気の躍動--安部公房『密会』(特集〈精神病院〉の文学)
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1523669555269821696>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 11
『他人の顔』--変貌する<世界>(特集 安部公房--ボ-ダ-レスの思想)--(作品の新しい顔)
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1521699229709328000>

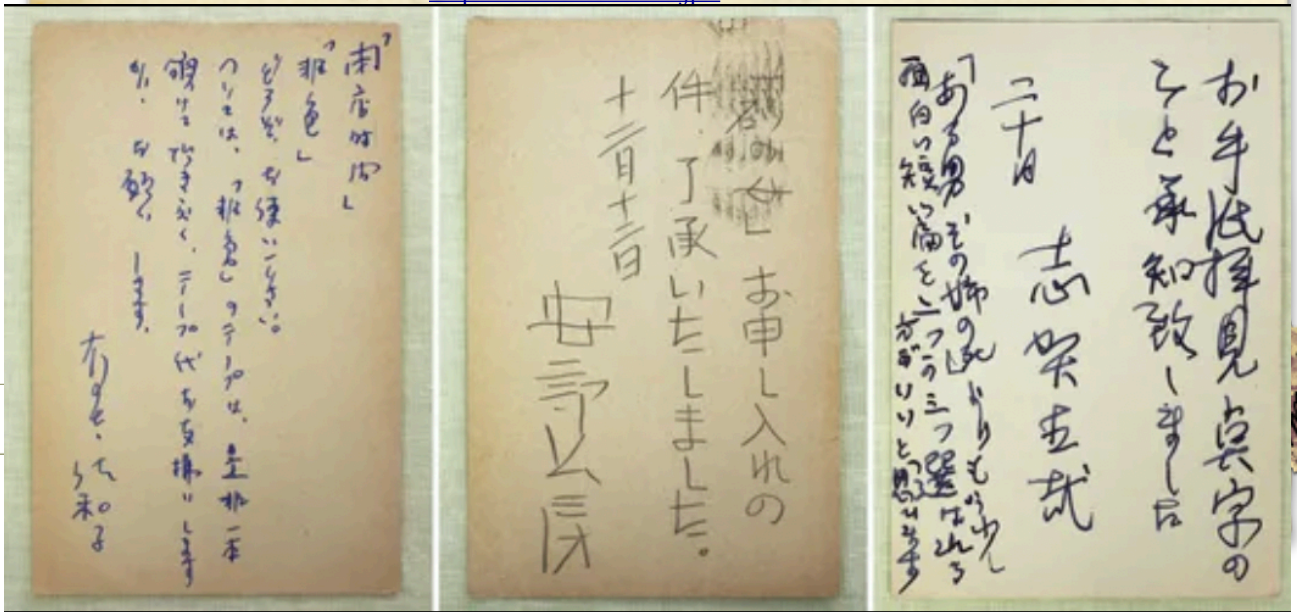
詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 8
劣性の思想--安部公房『カンガルー・ノート』論
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390009224762819072>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 7
〈オブジェ〉達の革命：花田清輝と安部公房「壁：S・カルマ氏の犯罪」
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390290698568011008>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 4
安部公房『第四間氷期』--水のなかの革命
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1050001202480283392>

大作家ら肉筆1958通 志賀直哉ら作家からの手紙

2022.8.28 18:02 共同通信：<https://www.47news.jp/>



もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中壘筆宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

(1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）

(2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）

(*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

(1) 安部公房の読者

(2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。

(3) 年齢：不問

(4) 性別：不問

(5) 国籍：不問

(6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。

(7) 提出文書のフォーマット：pdf

(8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6. 応募名：

(1) 本名を名乗つてはならない。

(2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。

(3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可

(4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7. 選考委員：

(1) もぐら通信の全ての読者

(2) 国内外の読者を問はない。

8. 作品の公表：

(1) 編集部には到着後都度読者に配信します

(2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9. 評価方法・評価基準：

(1) 安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる

(2) 採点の範囲は、1点から10点まで

(3) 最終的な判定は、もぐら通信編集員及び発行人が各作品に下す

10. 評価・選考のためのネット選考会月次開催

これは都度案内します

11. 賞金：10万円

最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12. 将来の展望：

ノーベル文学章の日本円換算1億円以上にします

以上

巻頭詩

(45)

問題

ロバート・コンクエスト

翻訳 岩田英哉

A PROBLEM

Liguria tingles with peculiar light.
The sea and sky exchange their various blues.
The asphodel that even goats refuse
 Glow dryly on each rocky height,
Whose foothills' wooded convolutions rise
 Through a heavy, luminous air. And here
 Man might, as well as anywhere,
Combine his landscapes and philosophies.

There Sestri crammed into its littoral shelf
Seems motionless with distance; motionless
Green flames pour up, the pines and cypresses
 Beyond the stream. The stream itself
Ripples and ripens to a falling sun
 Whose light makes metal at this hour
 Its golden froth of leaf and flower.
A dragonfly is basking on a stone.

Foam spurts between the pebbles; currents swirl;
It slides, a shining film, over rock
Smooth as itself, or into pools of dark.
 Where wood and sea and sky and hill
Give static broad simplicities, its course
 At once more complex and more simple
 Appears to thought as an example,
Like the complex, simple movement of great verse.



Gaze in that liquid crystal; let it run,
Some simple, fluent structure of the all,
No many-corridor'd dark Escorial,
 But, poem or stream, a Parthenon:
The clear completeness of a gnomic rhyme;
 Or, off the beat of pure despair
 But purer to the subtle ear,
The assonance of eternity with time.

How would it come? This war gave nothing.
No abstract thought can generate its laws
Unless some special impulse cracks or thaws
 The present icefields of belief:
—Perhaps from the strange new telepathic data,
 Or when the first craft, fairly soon,
 Its rockets flaring, noses down
To total strangeness under Deimos' glitter.

Till then, or till forever, those who've sought
Philosophies like verse, evoking verse,
Must take, as I beneath these junipers,
 Empiric rules of joy and thought,
And be content to break the idiot calm;
 While many poems that dare not guide
 Yet bring the violent world inside
Some girl's ephemeral happiness and charm.



【和訳】

問題

リグリアといふ土地の名前は特別な其処にしかない唯一の光によつて感覚の嵐を巻き起こす。

海と空は一つになつて様々な青い色を互ひに交換してゐる。

アスフォデルといふ海辺の花は山羊できへ嫌ふ花だが、岩山がちの山の高いところに熱っぽく、水とは無縁に花開いてゐて、その高い丘陵の樹々の輻輳して重なりあつた一つの姿かたちが立つてゐるのは重たい、光輝く空気を貫いててである。そして、ここに立つたならば、いやここだけではなく何処であつても、人は、この様々な光景や景色の数々と、数々の哲学を結びつけるかも知れない。

其処だ、さう、そのセストリは、海の海岸の棚の中にしつかりと締められて入り込んでゐる其の姿は、遠くから距離を以て眺めてゐると動きのないやうに見えるのは、それは動きのない緑色のたくさんの炎が溢れ立ち、パイナップルと杉木立の木々が、その緑色の炎の流れを超えて溢れ立つてゐるからだ。この流れ自体が漣（さざなみ）立ち、落ち行く太陽に合はせて成熟してゐるのだが、その光は、この時刻には、葉と花のその黄金（きん）の泡を金属的な硬質なものにしてゐる。

蜻蛉が一つの岩の上でゆつたりと寛（くつろ）いで止まつてゐる。

泡が小石たちの間を強く浸（ひた）して行くのは、波たちが小さく渦巻いてゐるのは、

横に滑つて行く様は、一篇の映画であり、岩の上を超えて滑つて行きそれ自体としてはすべらかであるが、あるいは暗闇のあちこちの水溜まりの中へとすべらかに止まることなく奥に入つて行くのだ。

樹木と海と空と丘陵が

静止的で幅広い数々の単純さを産み、その行く末を辿ると、直ちにもつと複雑で且つもつと単純であつて、

一つの例題として考へる思想であるとみえるのだが、それは複雑で単純である偉大な韻律の運動のやうである。



まさにその液体の水晶の中を目を見開いて見つめるのだ、走らせるのだ、何かの単純で滑らかに流れる全てのものの構造を、それは沢山の回廊のない、暗い、夜のエスコリアルだが、しかし、詩歌であるか水の流れであるか、さう、パルテノンの神殿だ、つまり、一つの警句でできた韻律の清澄なる完璧性であり、あるいは、純粹な絶望の鼓動から放たれてしかし更に純粹に繊細な耳に届くといふのは、時間と韻を踏んで響く永遠の響きである。

どうやって私のところまでやって来るのだ？この戦さは何も産み出さないといふのに。

抽象的な思想などは、その法則を生成することなどできないといふのに、もし、何かの特別な衝撃波が割つたりまたは凍つたものを溶かしたりしないならば、

信仰の此の現在ある氷原といふものを。つまり、

一ひよつとしたら、不思議な新しい五感を超えた資料からかも知れないし、あるいは、最初の藝術的な最高度の能力が、間違いなくもう直ぐやってくる

と、その沢山のロケットたちの射出する火炎が上がり、ロケットたちの鼻が落ちて行つて、

火星の第二衛星ダイモスの輝きの下に全く不思議だといった風に其の不思議なところまで落ちて行くのだ。

其の時まで、あるいは永遠の時まで、

詩歌のやうな沢山の哲学といふ哲学を探し求めた者たちは、さう、韻律ある詩歌を求めて呼び出し引用したものたちは、

私がこれらの杉の樹木たちの下にゐてさうであるやうに、

歓喜と思想の經驗的な数々の規則を捕まへねばならないのだし、そして愚か者の静寂を壊すことに満足しなければならないのだ。といふのは、他方、数多くの詩が、そこに至るまでの案内の役にも立たず、そのくせ、暴力的な世界を

何か娘の1日しか保たない幸福と魅力の内部へと運び入れる詩であるからだ。



【解釈と鑑賞】

この詩に出て来る冒頭第一連の一行目のリゲーリアといふ名前は、フランの南部の地中海に面したリヴィエラといふ土地の東に延長してそのままイタリアのリヴィエラである地域にある此れも美しい海に面した町の名前で、其の次の第二連の最初の一行のセストリも同じイタリアのリヴィエラの町の一つです。写真を載せます。

リゲーリア



セストリ

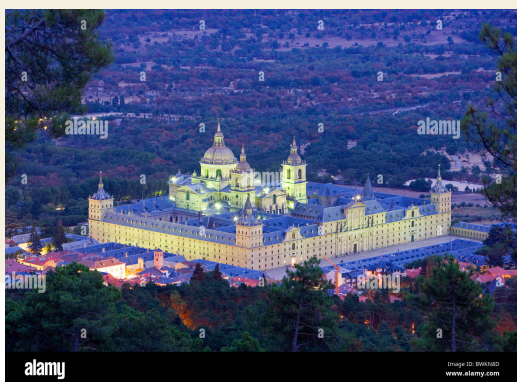


つまり、このイギリスの詩人は、アルプスを超えてイタリアに降つて直ぐにある地中海に面した二つの町を詩にして歌つたのです。こんな色彩豊かな明るい海辺はイギリスにはない。さうと知れば、一体この詩は何が書いてあるものか、やつと想像がつかうといふものです。それはそれは美しい町で、名前と場所は知らねども、私も兼ねてその美しさに惹かれて、これらの町の写真は手元に置いてあつた海辺の景色なのです。その謎がこの詩を読んで今やつと解けた。

さうして、この光景を詩歌そのものとして歌ひ、それも韻を踏んである韻律の調べの流れの、その光の流れの、複雑でみながら単純である数々の美しさを宿したこれらの町の調べを、一個の問題だと題して詩にしてみせて、この問題の解法を見つけようとして書いたのが、この詩なのです。果たして、解法は見つかったのか。見つかったのではないでせうか。この解の素晴らしさである此の詩人自身の理想とする詩を歌ふことのできたことは最後の連の中ほどに、愚かものの静寂を破るといふ満足としてある自分自身は、この光景から引き出した、さう、抽象的な思想などではない、具体的な体験的なものである歓喜と思想から抽出した此の規則を知るのは、これらの杉木立の樹木の下にみてこれらの町の景色を眺めやる自分なのであり、さうでなければそんな規則など手にとることなど思ひも寄らず、ほら見てごらん、こんな詩などとても書けやしないのだ、他の詩は、皆最後の三行にあるやうなこんな場所に誘ふどころか、逆に娘の1日しかもたぬやうな幸せで魅力の内部に、意に反する外部の暴力的な世界を入れることなどしようともせぬそんな役立たずの詩ばかりなのだから。

訳しながら、あちこちで、詩人といふ人種らしいverse, poem, rythme, assonanceを中心にした掛け言葉が幾つもありましたが、その一々を紐解いても、この詩の提示する色彩豊かなリヴィエラの景色を味はふことが大切と思ひましたので、敢へての分析は文字にしませんでした。目黒の秋刀魚よりも、リヴィエラの秋刀魚が大事です

最後に、夜のエスコリアルとある僧院の写真を載せませう。



コーボー・ベーシックス

kobo basics

(6)

花田清輝

岩田英哉

「埴谷雄高『安部公房のこと』 解題」（もぐら通信第51号）で花田清輝以外にも、当時の初期安部公房の『近代文学』を巡る人脈その他のことも含めて、埴谷雄高の『安部公房のこと』といふエッセイを解題したのであるが、これから花田清輝の部分引用して、言葉も引用は一部なので補足して新たに花田清輝とは安部公房にとってどういふ人間であつたかをお伝えしたい。花田清輝以外にも、当然に埴谷雄高、そして安部公房が後年になつても愛といつたら本当に愛を書いたのは椎名麟三ではないかといふほどにずっと好きだといふ此の椎名麟三、ハイデッガー、ニーチェ、リルケについても、安部公房全集をもとにして論じてゐます。第51号のダウンロードは：shorturl.at/DEF48

『安部公房のこと』は、『近代文学』（昭和26年西暦1951年の8月号(五十号記念特輯号))に「戦後作家論1」と題して掲載されたものです。(ちなみに、この論考に続いて掲載されてゐるのは石川淳論で、『戦後作家論2石川淳』と題されて、井澤義雄といふ方が論じてゐます。師匠と弟子の同時掲載となつてゐます。)

安部公房全集全30巻が私達の目の前に有る今、埴谷雄高の文章に、確かに埴谷雄高の書いてゐることは歴史的な、つまり時間の順序で事実を文藝誌『近代文学』の立場から見た時には確かな事実で有るとしても、全集によつて其れ以前の安部公房を知る私達読者であつて見れば、埴谷雄高の述べるところを少しも否定することなく、しかしこれを些か補足する必要を覚えましたので、ここに解題と題して其のやうな説明を致すものです。

(略)

この章の最後に、安部公房が後年語る花田清輝について人間像を、少し長い引用になりますが、引用します。『都市の回路』（第26巻、223ページ下段）。

1978年、昭和53年、安部公房54歳。

ここで安部公房は率直に自分と花田清輝の類似と相違を語つてゐます。(略)花田清輝は散文詩であるエッセイを書いたといふ指摘、また其のエッセイは抽象化した私小説であるといふ指摘は、一重の傍線を付しましたが、これは実は、安部公房のことを語つてゐるに等しいのです。文字を赤字にして一重線を施した箇所については、安部公房が当時の、『近代文学』に接した以降のことを語つてゐて、安部公房が戦争と戦後の関係でどのやうな位置にゐたかの、正確な自己認識になつてゐます。

「即ち、安部公房は戦争や戦後とは直接には何の関係もない孤絶した世界を一生生きてということである。」(「私の本棚:高野斗志美著『安部公房論』」(もぐら通信第24号))

「都市に向かつて

——安部さんは戦後、「夜の会」「記録芸術の会」「現在の会」など、さまざま文学運動に積極的に参加されましたね。安部さんがそのような活動をなさるについては、花田清輝さんとの出会いが大きな意味を持つたと思うのです。その花田さんも四年前に亡くなられたわけですが、振り返つてみて、どのような感想を持たれますか。

安部 戦後、僕が小説を書き始めてから、一番共感をもてたのはやはり花田清輝だろう。いろいろ意見のくい違いもあつたけど、芸術観というか、感受性でやはり抜群だつたと思うな。とにかくすごく感受性の豊かな、人間嫌いだつた。政治的な発言にしても、運動としての行動にしても、味方のコミュニケーションよりは常に敵との折衝を重んずる方でね。傷つきやすい人間だつたんだよ。見事なのはレトリックを変装の道具に使つて、どうやつて現世の火輪をくぐり抜けるかの離れ業だな。だから彼のエッセイは、常にすごく抽象化された私小説だつたやうな気もする。

本質的には詩人だつたんだと思う。すべてのエッセイが散文詩として読めるし、散文詩としてエッセイを書いていた。しかし、ある時期からちよつと自由でなくなつたやうな気がする。とくにその時代、ポエジーとしての変身の術が、誤解されて論説のやうに受取られてしまつた。だから、スポークスマン・花田清輝として評価する人がけつこう多いんじゃないか。僕なんか文壇にまつ

たく無関心だつたから、よく理解できなかつたけど、彼はけっこう反文壇に大きなエネルギーを使つていたんだよ。晩年の疲労感はそのせいかもしれないね。

——これはよく知られている事実ですが、安部さんが戦後に書きはじめられたときは、ハイデガーやリルケの影響を強く受けられていた。その後に、安部さん固有の世界を築いて行かれるときに、安部さんはルイス・キャロルやカフカ、あるいはシュルレアリスムの方法に学んで、いわば文学上の大きな選択をなさつた形になる。さらにすすんで、安部さんは Kommunismus にも接近なさるわけですが、そのような方向は、花田清輝さんもやはり共有しておられたわけですね。

安部 そう思うね。いろんなことを教えてもらつたよ。それに花田清輝は人間的に好きだつたから、彼が運動といえば僕も喜んで乗つかつて一緒にやつたけど、グループとしての仲間意識はあまりなかつた。彼に劣らずぼくも人間嫌いだつたからね。それに第一、終戦体験というものがひどく違つていた。僕と同世代の連中がほとんど持つていたと称する価値の転換、あるいは戦時中のイデオロギーからの裏切りという感覚は、僕にはまったくなかつた。戦争中から、なんかおかしいという感じのほうはずつと強かつたから、終戦も突然空が晴れわたつたという感じしかしなかつた。無論戦争イデオロギー以前の教育なり雰囲気なりを知つていた僕らより上の世代の連中もホツとはしただろう。しかし、その連中とも違うんだ。それ以前のことは全然知らないわけだからね。だから、「近代文学」とか、「夜の会」とかへいつても、どこか外国人と無理につき合つているようで、一つピンとこないんだ。ただ、そこだけが僕を受け入れてくれたし、ほかに行く所がないからそこにいただけなんだ。でもいま考えると、そのすべたが僕にとってプラスに作用してくれたように思うね。Communismus への接近も、まったく過去の屈折なしの接近だつた。転向問題も何も知らずに Kommunismus に接近したという点では、むしろずつと後の世代と似ているのかもしれない。離れるときも、僕としてはまつすぐ一本の道を歩きつづけてきたつもりだ。結局はすれ違いだつたんだね。」

(『都市の回路』、第26巻、223~224ページ)

また、『埴谷雄高は存在感覚の変換—アヴァンギャルドの道—』といふ安部公房論の中で、内心内面の安部公房とは別に、周囲から目にしたところから従ひ、当時花田清輝が安部公房に与えた「影響」について、次のやうに語つてゐます。

「カフカもシュペルヴィエルも安部公房を揺さぶつたけれども、あらゆる事物が異常性をもつことによつて自己解体へ直面し、その自己解体への推移こそ自己確立の脱出口であること、さらに、両端から掘り進んだトンネルの或る箇所ではつくりと口があき、自と他が顔を見合わせた瞬間何かがあることをさつと通りすぎることを、を教示したのは、そのなかでも特に、花田清輝である。花田清輝の理論と安部公房の作品について比較研究し、その影響の深さを論じたものを私は見ないが、作者が成長してきた長い年月の体験から作品の核心をひきだすこれまでの批評と研究が全崩壊する貴重な踏み出しがその比較研究からもたらされるに違いないと私は思っている。」(『埴谷雄高は存在感覚の変換—アヴァンギャルドの道—』(もぐら通信第35号))(傍線筆者)

誰か「花田清輝の理論と安部公房の作品について比較研究し、その影響の深さを論じ」、「これまでの批評と研究が全崩壊する貴重な踏み出し」をなす者はいるのか?その誰かのために、この解題の此の章が役立つことを願ふ。

引用の順序が相前後するが、次の花田清輝と安部公房の思想の違いも、当時埴谷雄高による引き合はせによつて文学的盟友となつた中田耕治の回想によつて知ることができる。

「また、安部公房が10代に読んで、やはり自分のものとしてみたデカルトのことを、埴谷雄高は正確に見抜いていたことが、中田さんの回想録で判ります。『安部公房を巡る思い出(連載第8回)』(もぐら通信第39号)より引用します。埴谷雄高の慧眼は素晴らしい。この慧眼が安部公房といふ類ひ稀な言語藝術家を発見したことに心から感謝したい。

「1945・文学的考察」が出版された頃だから、1947年春、おそらく2月から4月にかけてと思われるのだが、中村真一郎は、「近代文学」の集まりのメンバーとして顔を出すようになっていた。福永武彦は療養中だったためこの集まりには一度も出なかつた。加藤周一はときどきこの集まりに出た。会のあとで本郷三丁目のバーに寄つた。美人姉妹が経営していたバーで、駿河台下の「らんぼお」の美女と並んで、戦後文学者や、東大仏文の人達が集まつていた。ここで、花田清輝と大論争になつたことがある。埴谷雄高、安部公房がこの論争に加わつた。

埴谷雄高は、論争がはげしくなると、その間に割つて入つて、すかさず別の論点を投げ出す。だから、討論が堂々めぐりにならない。さらに、加藤周一と花田清輝の論争がハイライトに達したと見るや、それまで遠く離れて論争を見ている美しいホステスたちに目をやる。まるで、格闘技のチャイムのような効果で、一時、休憩。(はるか後年、「茉莉花」でも何度かおなじようなシーンを見たことがある。)

この休憩のときに、埴谷さんは、安部公房と私にむかつて、「なにしろ、カルテジアンとヴォルテリアンの論争だからね。レフェリーも必要だよ」花田清輝が薄笑いをうかべた。

この論争の直後に、埴谷雄高が花田清輝にあてて出したハガキがある。(これは偶然私が手に入れたもので、このブログに掲載しようと思つたが〔註：中田耕治氏のブログのこと〕、残念ながら見つからなかつた。)そのハガキで、埴谷雄高は、花田清輝を「戦後」という時代にあらわれた「狂い咲き」と評していた。こうした論争をそのまま速記して、いまの雑誌に発表したら「戦後」の貴重な記録になつたに違いない。」(傍線筆者)

この回想でわかることは、花田清輝はヴォルテールを、加藤周一と安部公房はデカルトの論理を元に議論をしたといふこと、これを埴谷雄高は正確に理解をしてみたといふこと、この理解と裁定に対して「花田清輝が薄笑いをうかべた」ことです。この議論の哲学的領域で、花田清輝は安部公房と意見が合はなかつた。それが何故かは、後述する「6. 花田清輝」をお読み下さい。」

私の結論を申し上げますと、安部公房は直喩の作家ですから(「~のやうな」「~のやうに」といふ譬喩の作家)、これに対して換喩の作家(言葉を意味の交差として連結せずに単に並列的に並べて自分の意味を伝えようとする譬喩の作家)ですから、勿論食い違つて意見の合はないことも多々あつたのです。しかし、人間的に好きだつたといふのは、やはり当時の安部公房のやうに周囲から理解されずにゐる詩人であつたといふことが大きく働いてゐるのでせう。さうして、お互ひに影響を受けてゐた。花田清輝のエッセイ『砂のペルソナ』は時系列では安部公房の『砂の女』の前に書かれてゐるが、私は実はこのエッセイは安部公房が語つた満洲の砂の話に啓発を受けて書かれたものだとおもつてゐる。他方、安部公房はこの換喩人間から受けた影響を、人に知られぬやうに短編『デンドロカカリヤ』の中に、当時の安部公房は日本共産黨員でしたから検

閱を受けてみたNHKのラジオドラマの原稿のやりとりしてみたNHKといふ三つの頭文字を、そつと入れてみるのです。それは次のような箇所です。引用は全て『デンドロカカリヤ』です。

1。N

「行き先を一応N市と定め、まとめておいた荷物を送ってしまうと、(略)」
(全集第2巻、238ページ下段)

2。H

「以上、要件はお目に掛かった上で……。
H植物園長より。」

(全集第2巻、250ページ上段)

「私は、あなたにH植物園の一室を呈共しようっていうわけなんですよ。」
(全集第2巻、251ページ上段)

3。K

「時折K嬢の話に耳傾けると、(略)」(全集第2巻、239ページ上段)

「憶えはある。K嬢とつれそって歩いていたのを、(略)」(全集第2巻、240ページ上段)

「これからK嬢が届けてくれるはずの生活が、(略)」(全集第2巻、241ページ上段)

「よし、どんなことがあってもK嬢をあの人から守らなければならない。」
(全集第2巻、241ページ上段)

これでお分かりの通り、換喩とはもはや私的な暗号の一種なのです。

私は花田清輝と同様の換喩の作家として、村上春樹がさういふ換喩人間であることを知つてゐます。二人に共通してゐるのは多分一人っ子で、そして厳格な父親(本人がおもつてゐるだけかもしれないが)の元で育つたといふ家庭環境にあります。村上春樹の此の換喩文学についてはまた別に論じたい。そして意外におもはれることでせうが、この村上春樹といふ作家は既に子供の時代から日本の平家物語などの古典に非常に親しかつたのです。それが何故アメリカ文学の平俗な表現にも非常に詳しい、アメリカ文化の深い理解者に日本人となつたか、これを論じなければ村上春樹を論じたことにはならないのです。

中田耕治曰く「埴谷雄高は、花田清輝を「戦後」という時代にあらわれた「狂い咲き」と評していた」といふことであるが、同じ意義に於いて、私は村上春樹も「戦後」という時代にあらわれた「狂い咲き」であると思ふ。といふことは、世界的なベストセラー作家でもある訳なので、此の事実の示すところは、村上春樹の売れてゐる西欧やアメリカやそのほかの国々は「戦後」という時代にあらわれた「狂い咲き」を許容する時代を日本と同じく共有してゐたのだといふことになります。ウクライナ紛争で、プーチンがアメリカ一強の政治および経済軸を壊してしまつた2022年2月24日までは。

さて、この当時のNHKのディレクターである安部公房ご担当の長与孝子氏との交友は『安部公房氏との打ち合わせ記録』と題して、同氏の記録をもぐら通信第17号から第20号まで4回に分けて連載しましたので、この記録をお読み下さい。各号のダウンロードは：

第17号：shorturl.at/hIJY7

第18号：shorturl.at/euxz9

第19号：shorturl.at/QRV12

第20号：shorturl.at/pqFKS

この長与氏の回想記は、安部公房全集の編集を担当なさつてゐた新潮社の宮西忠正氏の仲介の労の果実です。宮西さんに改めて御礼申し上げます。この長与さんの実家は、夏目漱石が胃潰瘍をわずらつてゐた時に通院した都下で有名な胃腸病院である長与病院です。医業と文学繋がりといふことになり、安部公房に通じてゐますね。

『都市への回路』論

(15)

(2) 演劇について

④デジタルとアナログ

岩田英哉

目次

(1) 小説『密会』をめぐる[聴覚の小説『密会』]

- ①病院という舞台
- ②強者と弱者
- ③逆進化の逆説
- ④現代小説の陥穽
- ⑤マルケスとポー

青字がこれまで論じて来た項目、赤字が今回論じる項目、黒字はこれからのものです。

(2) 演劇について

- ①アメリカの『友達』
- ②演劇の現代
- ③夢と俳優
- ④デジタルとアナログ

(3) 写真について[視覚の小説『箱男』]

- ①写真について
- ②覗きの構造
- ③廃棄物
- ④盗聴とセックス

(4) 音の領域

- ①音楽の時間
- ②抒情の効果

(5) 都市に向って

- ①花田清輝
- ②国家と暴力
- ③都市に向って
- ④祭りへの不信

(2) 演劇について

④ デジタルとアナログ

安部公房がこのインタビューでいふアナログとデジタルといふキーワードを中心に述べている演劇と台本の関係論を理解するために最初に次の「安部公房の人生表」を見てください。それから本題に入ると理解がし易いと思ふからです。ダウンロードは：<https://www.docdroid.net/uul2UJm/v4-pdf>

2015年4月5日、5月2日 (作成岩田英哉/もぐら通信)					
安部公房の人生表					
PHASE	PHASE 0	PHASE 1	PHASE 2	PHASE 3	
存在	子供 (未分化の実存) であった	存在の中での隠棲	存在からの出発	存在への回帰	
文学の領域	奉天の意の時代	詩人の時代	散文家の時代		
期間	子供時代	存在に棲んだ10年	前期20年	後期20年	
年代	1925 - 1940	1941 - 1947	1948 - 1970	1970 - 1993	
年齢	1歳~15歳	16歳~23歳	24歳~46歳	46歳~68歳	
詩文と散文	奉天に住んだ15年	詩人であった10年	詩人から散文家になる20年	散文家から詩人に回帰する20年	
国家と社会	日本の歴史上あり得ない圧倒的に幾何学的な町奉天に住んで、成長した10年	国家や社会とは無関係に、現実の時間の存在しないリルケの純粋空間に棲んでいた10年	国家と社会の中へ出て行く20年	リルケの純粋空間へ回帰する20年	
劇場観	奉天の幾何学的な世界が劇場であった	現実を劇場と観た10年	現実を劇場と観た20年	存在 (関係概念) を劇場と観た20年	
存在と社会	奉天の意と自己のみがあった	存在と自己のみがあった	社会的関係の中に存在を求めた20年	存在 (関係概念) の中に社会的関係を求めた20年	
主要な作品	a. 詩『夜』 b. 詩『風』	a. 問題下降に拠る肯定の批判 (1943年) b. 10代の詩群 c. 詩と詩人 (意識と無意識) (1944年) d. 無名詩集 (1947年)	a. 終りし道の標へに (1948年) b. 壁 (1951年) c. 砂の女 (1962年) d. 他人の顔 (1964年) e. 燃えつきた地図 (1967年)	a. 箱男 (1973年) b. 密会 (1977年) c. 方舟さくら丸 (1984年) d. カンガルー・ノート (1991年) e. 飛ぶ男 (1993年)	a. 未必の故意 (1971年) b. 靴 (1973年) c. 鷹 (1973年) d. 愛のメダナは色ガラス (1973年) e. 緑色のストッキング (1974年) f. ウエー (新どれい狩り) (1975年) g. 案内人 (GUIDE BOOKII) (1976年) h. イメージの展覧会 (1977年) i. イメージの展覧会 III (仔象は死んだ) (1979年)
主要な作品の主題	a. 月の光 (影) の反射する超越論的な存在の部屋と異界からの呪文の声 (言葉) の関係 b. もぐら感覚である触覚と、その触覚から発せられる呪文 (言葉) が風 (移動体) を招来するという自覚	a. 閉鎖空間からの脱出の方法 b. 存在、未分化の実存、言語 (言葉) c. 詩と詩人、意識と無意識 d. 未分化の実存、無名であること、言語 (言葉)	a. 存在、未分化の実存、存在象徴 b. 壁 (=媒体 (関数)) と存在 c. 女の中の存在 d. 顔の中の存在 e. 地図の中の存在	a. 存在の中の箱 b. 存在の中の密会 c. 存在の中の方舟 d. 存在の中のノート e. 存在の中の飛翔	a. 『公然の秘密』: 「弱者への愛はいつだって殺意がこめられている」 b. 存在への方向を示す靴 (案内人) c. 存在になっものは、廣ものになる d. 愛: 存在の革命を起こす無償の愛 e. 存在への方向を示す緑色のストッキング f. 存在への方向を示すウエー (案内人) g. 存在への方向を示す案内人 h. 存在と変形の形象 (イメージ) i. 存在と変形の形象 (イメージ)

この人生表に従って安部公房の述べていることを整理すると次のやうになります。まず、安部公房の作家としての人生を次のやうに大雑把に整理しませう。

安部公房の人生は、大きく分けて、1970年 (昭和45年) の三島由紀夫の死を境に、それ以前の20年間、それ以後の20年間の時期だといふことを、2・3年の出入りはありますが、さうであることを思ひ出して下さい。人生表の再度ダウンロードは：<https://www.docdroid.net/uul2UJm/v4-pdf>

さて、その上で、次のような四つの相にその人生は区切ることができます。この表の中の「詩文と散文」の視点から見るのがわかり易いので、この視点から次のように必要な情報要素を書き出してみます。

1. Phase 0：1925年から1940年：1歳から15歳：奉天に住んだ15年
2. Phase 1：1941年から1947年：16歳から23歳：詩人であつた10年
3. Phase 3：1948年から1970年：24歳から46歳：詩人から散文家になる20年
4. Phase 4：1970年から1993年：46歳から68歳：散文家から詩人に回帰する20年

このインタビューを受けている時期の安部公房は、四番目のphaseであり、安部公房54歳。安部公房スタジオを設立して活動する1970年代の10年間です。残りの10年の1980年代は箱根の山荘に籠り、真知子夫人と別居して、一人隠者の生活を送つてゐる。この時期安部公房と交流のあつた人たちは、全集を含めた色々な資料を読むと、山口果林、ドナルド・キーン、堤清二、新潮社の編集者新田廩、一人娘のねり、といふところではないであらうか。

以上の4つの時代、4つの相を念頭に措いた上で、ここで発言する安部公房の鍵語・キーワードは、デジタルとアナログといふ用語で、この対比的な言葉を使つて、安部公房らしくジャンル横断的に、範疇横断的に次のやうに語るのです。インタビュアーは、安部公房に小説と演劇の関係を尋ねます。何故なら、ことに「『箱男』から『密会』に至る四年間は、安部公房スタジオの活動と一致しているわけ」だからです。だから、「そのような演劇の実践が今度の小説『密会』にも反映しているのではないかという評もありますが、安部さん自身で、その点、強く自覚されていることはありますか。」といふ質問に次のやうに答へるのです。

上記人生表のphase 0に時代に、次の二つの経験をしたことが、「自分の文学的関心がだんだん結晶化していったプロセスを思い出してみると」あるといふのです。

(1) 一つは、「中学2年頃に見た「百科事典」の”現代美術”という項目で見て衝撃を受けたシュールレアリスムと未来派の絵。「小さいザラザラの写真で、学校で習う絵とまったく違う絵が出ているんだ。ものすごい衝撃だった。その絵がいいと思ったのではなく、その絵の前でそれまでの絵という概念が完全に崩壊したわけだ。」

(2) 「それともう一つは、「世界戯曲全集」か何かの中の表現主義の芝居に異様なショックを受けた。これもやはり中学の二、三年の頃だと思う。そのあと、読者としての決定的な欲望をめざめさせてくれたのは、ドストエフスキーとポーランドだけれど、その前にそういう非常に強烈な体験があった。文学的体験というより、感覚的体験かな。そういう体験が、その後の僕をある意味で方向づけたのかもしれない。」

この(2)の「世界戯曲全集」とは当時新潮社から出てみた戯曲全集です。安部公房の演劇と台本と舞台との最初の関係は、「僕は、なぜ自分が芝居をやるかということがずっとわからなかった」が、思ひ出せば、この全集が最初であったのです。それと舞台美術としてのシュールレアリスムと未来派の絵が、ここで登場してゐます。

さうして、舞台を台本よりも上位に置いたら、確かにこのまま1975年以降の安部公房スタジオ後期の舞台といふことに、この衝撃的な二つの経験は一つに、なります。安部公房は安部公房スタジオでのこの後期の時期の舞台とそれ以前の舞台の違いについて次のやうに語つてゐる。といふことは、『ガイド・ブック』以前と以後で、安部公房の舞台と演劇は次のやうに分けられる。

インタヴューア―：安部さんは昭和二十年代末から芝居を書き始められましたか、かつての芝居の作り方と劇団を作られてからの作り方というのは、全然違うといつていいのですか。

安部： 違うね。あの頃は文学の延長で書いていたけれども、いまはやはり、反文学をかなりはっきり意図している。特に『ガイド・ブック』のシリーズから意識的に始めたと思う。だから、『ガイド・ブック』はまだ本〔註：台本の意味〕になっていない。」

安部公房の考へ方は、台本の会話と、小説と詩文、詩と舞台の関係を、その発言をまとめると、次のやうに語つてゐる。

「僕はもともと、会話の部分はわりに楽に書けるんだ。だから、セリフ中心の作品が書きたくて台本を書いていたわけじゃないんだね。むしろ舞台を作りたいという衝動がひそんでいて、それがぼくを台本に向かわせたのかもしれない。だから、僕の舞台はぜんぜん文学的じゃないだらう。言葉の世界と、反言葉の世界が、たがいに闘(せめ)ぎ合っている。小説でも、言葉を通じて反言

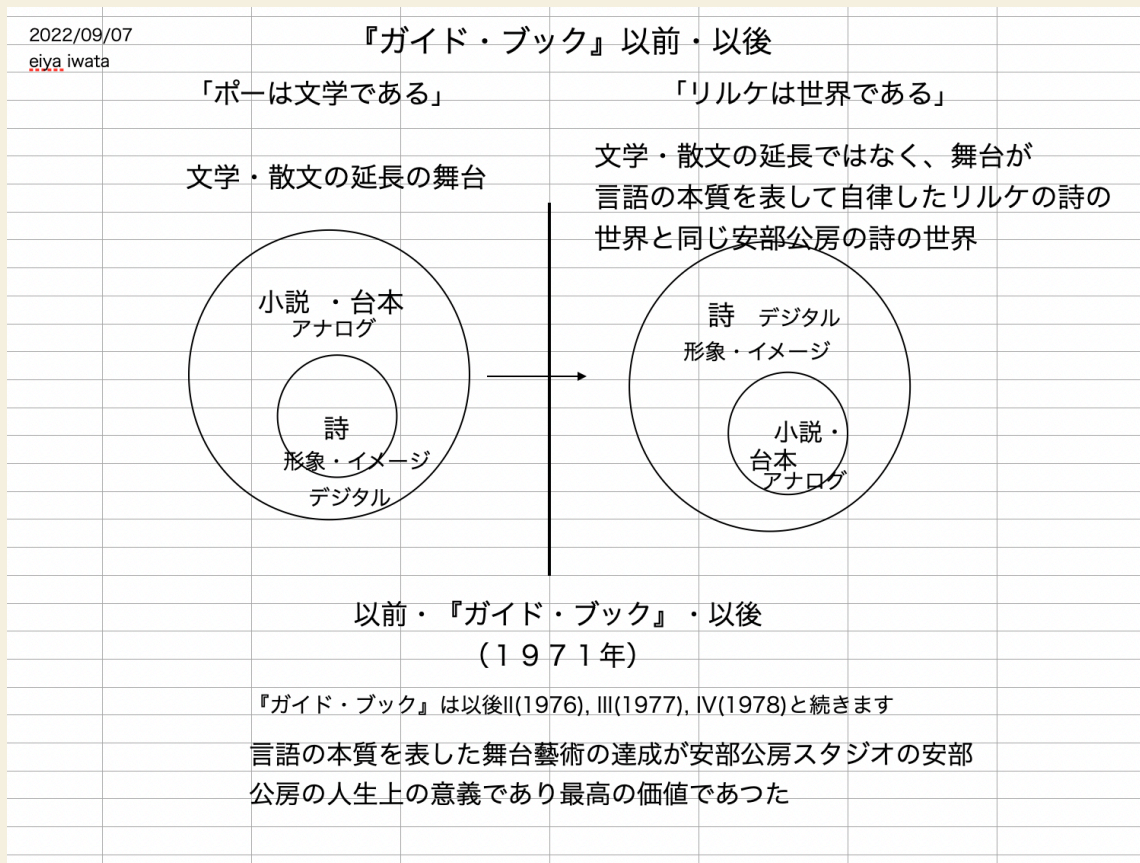
葉の世界が、たがいに鬩（せめ）ぎ合っている。小説でも、言葉を通じて反言葉的なものを表現しようとしている。それと反言葉的なもので、いかに言語の世界に迫るかという衝動が同時にあって、これが僕の中でバランスをとっているんだな。舞台の上で僕に必要なのは、言葉よりもむしろ俳優の肉体なんだよ。」（傍線は原文傍点）

安部公房の台本又は上演された舞台での会話のセリフは、実は安部公房の十代からの詩であるといふことは『周辺飛行論（8）：『周辺飛行』について(5)：〈これはある職業的關係 によって一周辺飛行5〉（もぐら通信第95号）で詳述しました。

「僕はもともと、会話の部分はわりに楽に書けるんだ。」と安部公房のいふ意味は、会話自体が十代の詩人時代から変はらぬ超越論的な詩でありますから、これは散文の中に詩を統一的に融合させた成果であることは、さうしてその努力が如何なるものであつたかは作品に即して具体的に『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について』（もぐら通信第57号から第59号）で、これも詳述したところです。

ですから、安部公房の小説は常に詩を含んでゐる。特に会話のセリフの部分と、地の文での論理的飛躍のあつて非常に詩的な一行は、例外なく、安部公房の詩であるのです。さうすると、『ガイド・ブック』以前は、作家自身のいふ通りに「文学の延長で書いてみた」のに対して、『ガイド・ブック』以後は、詩の延長で書いてゐることになつた。ここで、安部公房のリルケとポーに関する言葉、ポーは文学だが、リルケは（一つの）世界だといふ言葉を思ひ出してほしい。ポーは小説であり散文ですが、リルケの世界は自律的な完結したそれ自体独立した形象だけの、意味を捨象した、解釈を拒絶したイメージだけの世界であるといふ意味です。ですから、『ガイド・ブック』以前は、文学の延長で台本を書いてゐたので、台本あつての舞台であつたが、『ガイド・ブック』以後は、舞台が先にあつて、それから台本ができるといふ順序に入れ替はつたのです。このやうにして、安部公房にとつての舞台とは、詩的形象、詩的イメージの豊かな世界であるといふ、時間の中で観客に観てもらふアナログの世界であるのに対して、この舞台の成長とともに生まれる安部公房のセリフの書かれた台本はデジタルの、即ち言語の本質によつて現れた超越論の、即ち十代の詩文と同じく、連と連を入れ替へても意味が、それぞれの連で自律独立して

立して成立する言葉の世界となるのです。安部公房が繰り返し、言語はデジタルだといふ言葉を思ひ出して下さい。安部公房がここで語ってあるデジタルとアナログといふキーワードによつて図解してわかりやすくしました。



この後、安部公房はいよいよ、写真について語ることにになります。何故なら、写真は安部公房の窓から覗いた詩の世界、リルケの世界、陰画で磨りガラスで見た太陽の降り注ぐ日常の夜の世界だからです。安部公房は黑白写真だけを残しました。映画の撮影も白黒でした。私たち読者はこの一見倒錯と世間の常識から見ると見える世界の住人なのです。自分自身を知るために、安部公房のインタビューを読み続けませう。このやうに思つてみると、『都市への回路』とは実にいい名前です。あなたが田舎に住人であつても、都市の住人であつても。

しかしまた、田舎への回路といふものはないのであろうか。それは田舎の人が田舎自体への求める回路であり、都市の人ならば都市の人の求める田舎への回路の二つがあることになる。そして、どちらの場合でも、それは何々自体と

いふのであれば、それは存在の世界なのであり、それが都市であれば都市自体の、田舎であれば田舎自体の、存在の世界である。安部公房の都市自体の存在の世界の原型は、言葉に出さないだけで、常に奉天です。奉天は当時の、そして当時も今もの東京以上に遥かにヨーロッパの都市、しかもバロック様式の都市でありますから、それ故に、安部公房が田舎自体を選択することはないのです。しかし、読者は別だ。もしあなたが都市の人間であらうと田舎の人間であらうと、選択したければ田舎に、といふことは自然の中といふことにほかなりませんが、存在を求めることは一向にさしつかへがない。さういふ人生もまたあるでせう。安部公房が都市の外部に、自然の中に田舎を求め、田舎自体を求めたらどうなるかといへば、それは読者ご存知の通り、砂漠であり動いて止まぬ砂であり、そこに存在する存在の世界、即ち名作『砂の女』の世界といふことになります。

(続く)

S Fで思考するための本棚

(8)

古事記SF論 (3)

小説と古事記の関係

岩田英哉

1. 神話と小説の関係

古事記とは、哲学書『差異と価値等価遍在の世界』なのです。

と書いたのは、「【ショーペンハウアーの箴言0】 哲学とは何か」（もぐら通信第159号）の末尾であつたが、この章は、この結論の上に立っている。

神話と呼ばれる大昔の話、および今書かれる神話的な小説と小説の備へてある神話性の関係を、この基礎の上に論じます。結論だけを申し上げる。即ち、言語の観点から、古事記を哲学書または形而上学の書として読むといふことなのです。私の結論は次のやうなものです。

1. 人間の言語表現の最も高度なる譬喩は隠喩である。勿論、他の譬喩も使ひかたによつて其のやうな高度に至るが、隠喩に焦点を当てると其の重要性は事実と交はる譬喩だからだ。といふところにあるのです。この地点で他の譬喩、即ち直喩や換喩とは異なり、その質を絶してあるのです。この隠喩の最高度の使ひては、三島由紀夫です。この作家の隠喩を思ひ出してほしい。

さて、この隠喩が、書き手の高度な言語能力とは、言語能力とは何かは別途論ずるとして、事実をいふ時に隠喩は隠喩以上の隠喩になるのです。隠喩以上の隠喩とは事実にはかならず、従ひ此の隠喩といふ譬喩と事実の交はりの交差点で、言葉は象徴性を帯びて、象徴性を帯びた高度な言語表現、即ち言の葉または事の端、即ちコトのハ、即ち言葉となる。

現実に関する認識である事実として其処にある差異の認識が、この言葉の象徴性を帯びることによつて差異がなくなり、その現実が象徴自体となるのです。即ち事実が象徴となり、象徴が事実となる。古事記の日本語は、この言語で叙述されたをり、これは言語の日本語への、また日本語の日本語への変身、共に再帰的変形といつてもよく、言語と日本語の変形を再帰的自動詞として果たしたこの言葉、即ち神話といふならば神話の言葉になるのだ。と、このやうにいふことができる。この再帰的変形によつて口頭でいはれ、また更に文字に起こされ転写された言葉を神話の言葉と呼ぶことにしよう。

この特殊日本語の世界で考察してきた神話と小説の関係に関する結論は、日本の特殊性にとどまるものではなく、そのまま世界普遍的に世界中の民族の持つ太古の神話に適用されるものです。

ここで一つ私の言語と言葉の二つの用語の使い分けについて説明をします。私が言語といふ場合には、これは日本語といふ個別言語に限らず一般的に広く世界中で使はれてゐる言語のことを指してゐます。そして、言葉といふ場合には上述の如く、個別言語としての特殊日本語のことを指してゐる。白川静著『字統』を紐解いて、言語の字義を尋ねた時に、さすがこれは大陸支那の言語である、言は攻撃の意義であり、語は防御の意味であつたと記憶する。今この辞書が手元にないので確かめられないが、あるいいはひよつとして字義が逆であつてもいづれにせよ、言語とはoffenseとdefenseの二つからなる造語なのである。これに対して私たちの日本語は、最初から古事記の冒頭にあるが如く、アメ・ツチの開けし時に、この垂直方向の時間の存在しない差異に万物が存在してゐる世界なのであり、当然に其の後に語られる話も其の存在の中での話であり、上記の如く神話の言葉によつて語られてゐる物語であるから、攻めたり守つたりといふ二項対立と利害関係を言語の上でも構造上欠いてゐるのだ。これはこのまま、私たち日本民族の民族特性であり、国家特性であり、その基礎になつてゐる言語特性なのである。ユダヤ人の言語学者チョムスキーがこの二項対立の無い言語構造を、それ故に二重になつてゐるこの事実を冗長性・redundancyと呼んだことは別に述べた。伊勢神宮の遷宮を三島由紀夫にならつて思ひ出せば良いだらう。わたしたちは、この基礎、この土壌の上に、この二項対立の無い冗長性と二重性の上に毎日言葉で生活をしてゐるのだ。

さて、かくなるが故に、日常生活の言葉で合理的な神話の解釈をすることはできないのです。いはゆる合理的な論理は一切通用しません。その理解者であり解釈者である人が、認識者であり存在者になるのではない限り、即ちその人の言語生活での言葉が象徴性を帯びた事実を語る水準の高度な言語ではない限り、古事記に書かれてゐる事実を自分の言葉で語ることはできないのです。何故ならば、古事記やその他の世界中の太古から伝はる神話と呼ばれてゐる話はみな、このやうな言葉で語られてゐるからです。

2。小説と古事記の関係

さて、このやうな言語である日本語で書かれる小説は当然に、これまた象徴性を帯びた事実としての成熟した話にならざるを得ず、日本の私小説は明治以来、この境地を目指して来たので、これは日本語の作家特性なのであつて、作家により時代によつて、私小説は心境小説などと名づけられて、エッセイや随筆や身辺雑記と区別がつかなくなつてゐる。私は庄野潤三の文章は素晴らしい、この日本語の特性を活かした文章であると思ふ。日本の文学評論家たちは、この日本語による小説の元来備はつてゐる象徴性の話を、作家個人の心境の問題として理解した

のである。宮澤賢治ならば心象の世界と呼び、高い次元での事実として数々の童話として語つたあの一連の作品の言葉の世界である。安部公房も終生、宮澤賢治の愛読者であつた。この作家の最後の長編小説『カンガルー・ノート』は、この作家の『銀河鉄道の夜』であると私は考へてゐます。

以上が日本語の特性を存分に活かした神話と呼ぶなら呼ぶがいい神話の話と小説の話である。次にSF小説の話に話を広げると、これはこれまで既述の通り、SF小説とは、安部公房のいふ仮説設定の文学である。

ここまで来ると、この仮説設定の文学は単なる仮説を論理的に立てればよいといふものではなく、作家自身の心境といふなら心境、その境地の高度化、もつと論理的にいへば高次元化によつて決まる宇宙の枠組み、宇宙の周縁、へり、適用範囲または存在範囲、従ひ隣接宇宙との水平方向の接続か接触の話または垂直方向への上下の展開と接続か接触の話といふことになります。此の論理は二十歳の時の論文『詩と詩人（意識と無意識）』に詳しい。

これがSF小説、即ちこれも既述の如く、今や日本文学史の上では、SF小説が純文学小説の上位概念となつて私小説をも含む小説の本来の求めてみた一般名称となつたのであるから、小説といふなら小説、SF小説といふならSF小説の姿である。これを科学にこだはつて、スペース・オペラの世界でのやうに外部宇宙を物理的に描かうが、内部宇宙と読んで心境小説のやうに個人の心境を描き、または複数の登場人物が高度な次元での次元小説（と呼ぶことができるだらう）といふ小説を一般的に、普遍性を持つて読まれえる、即ち外国語に翻訳されても十分に読むに耐え得る構造化された、安部公房のやうな神話的な象徴性を備へた小説や戯曲になるかは、ここからは作家その人の宇宙観の問題であり、人生観の問題である。即ち、その作家が自分の人生を日々どう生きるのか、といふ単純明解な答へに帰着する。

（続く）

遁走倶楽部

(2)

エピチャム語から本邦初の翻訳

作者 S・カルマ氏

翻訳 岩田英哉

目次

- 01_デアンドール岩の祝祭
- 02_カフェ・セラピオンの読書会
- 03_町の地図 (或いは幕の内弁当に関する考察)
- 04_虚体祭
- 05_堂宇の殺人
- 06_コギト革命
- 07_ほとさらい
- 08_黄金の時代精神亭での酌酩
- 09_書記の部屋

第5章 堂宇の殺人

(待て次号)

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

（8）

岩田英哉

目次

1. 前編
2. 後編
3. GAME CHANGE理論
 - （1）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
 - （2）古いゲーム・ルール2：アメリカのゲーム・ルール：一般論
 - ①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コココーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジットカード、ディズニーランド等々）
 - ②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
 - ③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

新ゲーム・ルール

対アメリカ帝国：

- （1）新ゲーム・ルール1（アメリカ帝国向け）：一般論
- （2）新ゲーム・ルール1.1（アメリカ帝国向け）：個別論
- ①文化領域
- ②政治領域
- ③経済領域

対中華帝国：

- （3）新ゲーム・ルール2（中華帝国向け）：一般論
- ①支那とは何か中国とは何か
- ②中国の経済の構造
- ③中国の政治の構造
- （4）新ゲーム・ルール2.1（中華帝国向け）：個別論

対ロシア帝国：

- （5）新ゲーム・ルール3（ロシア帝国むけ）：一般論
- （6）新ゲーム・ルール3.1（ロシア帝国むけ）：個別論

4. GAME CHANGE理論（日本篇）

- 4.1.1 国民にとって理想の政府とは何か [対ロシア帝国] の中身は2022/0312
- 4.1.2 現行日本国憲法無効化論 現在未定]
- Intermezzo：文明の衝突篇：ハンチントン著『文明の衝突』からウクライナ問題を考察する
- 4.1.3 戦争空間領域分類論
- 4.1.4 日本国家軍事費用計算論
- 4.1.5 武器とは何か1
- 4.1.6 日本国家核ミサイル保有論
- 4.1.7 北朝鮮拉致被害者奪還論
- 4.1.8 日本駐留米軍退散論
- 4.1.9 日本中央銀行廃止論
- 4.1.10 尖閣諸島問題解決論
- 4.1.11 竹島及び北方領土奪還論
- 4.1.12 国体明象論（国体明徴論ではない）
- 4.1.13 国制明象論（国制明徴論ではない）

4.1.5 武器とは何か

武器は体の延長であり、兵器は国家といふ体の延長である。あるいは、国家といふ体・タイの延長である武器を兵器と呼ぶ。兵といへば、当然人間の組織的編成を意味するので、兵器といへば、其のやうな人間一人と人間の集合の持つ武器であるから、兵器と呼ぶことができる。

20世紀の第二次世界大戦の終了後に、アメリカ人が、人間の脳延長である電子計算機、今横文字でいふコンピューターを発明した。この歴史の、それ以前から論理的には哲学と数学に関係してもつと古いことは知つてゐるが、実際に化体化して現れたのは戦争後である。といふことは戦前から研究されてゐたといふことです。暗号解読機械などは、その一例です（例：チューリングの暗号解読化・解読機）。といふことは、最初から此の機械の持つ性格は、暗号化と暗号解読即ち復号の、codingとdecodingの二面を持つてゐるといふことになります。

そして、その後に20世紀の後半末から特に、コンピューターの小型化と同時に（これは半導体製造技術の進歩）、コンピュータを脳延長とすると、このコンピューターの脳延長が、即ち人間の脳延長の延長であるインターネットが、生まれた。人間の脳延長同士が、世界で時間と場所を選ばずに、意思疎通できるやうになつた。

この技術も、アメリカの軍事技術の民生使用への、日本語でいふなら、意図的な軍事技術の払ひ下げといふ経緯から、最初から軍事転用の現実性（例：盗聴）および暗号と復号の3面性を持つてゐた。私が前章で述べた、戦争は公然たる秘事、公然たる秘密であるといふ戦争の定義は、ここでも当て嵌まる。

さて、このやうに、武器が身体延長であると理解すれば、武器は我が身を守り且つ敵を攻撃するといふ、ここにも武器の二面性のあることが知られよう。このコインの裏表、これは人間の関する万物万事の本質的な性格であるが（何故なら万物万事は均衡点の上にあるから）、それ故に、この裏表の片方を否定することは他方を否定することに、お互ひなることは自明である以上、防御あつての戦争なぞなく、攻撃あつての戦争であり、防御あつての戦争であつて、攻撃あつての戦争であることがわかる。

以上のことを、民生品と呼ばれる商品や製品の人間にもたらす利便性、これが

私のいふ（民生品での）延長にはかならないわけだが、この利便性を提供する技術は、そのまま軍事技術であることも理解することができる。これを dual use（軍民両用と呼んでゐる）そこで、ここに人類の歴史を言語の観点から簡単に述べてをいて、それから先を続けたい。

（１）人類の歴史とは何か（人類の歴史の定義）

人類の歴史とは、価値の等価性を求めて、あらゆる差異を 0 にしようとして来た人間の努力のことである。これは善悪といふ道徳的判断とはまた別の努力である。

（２）戦争の歴史とは何か

上記（１）の定義から、人間と戦争、人間の能力と戦争は、ここでも分ち難いことがわかる。なぜなら、人間の最高の能力とは、言語によつて時間と空間の差異を 0 にすることだからである。

このやうに人間の言語とエロスの関係からのみならず、人間の能力との関係でも、戦争は人間のみる限り起きるものである。とはいへ、実は人間の能力とは言語能力に他ならないわけであるから（人間の身体能力は動物には敵はない）、結局は同じ能力である。安部公房の言ひ方を借りれば、人間の言語は開かれたプログラムだからである。この言語の発揮する働きには二つあつて、一つは集団化の作用、もう一つは個別化の作用である。

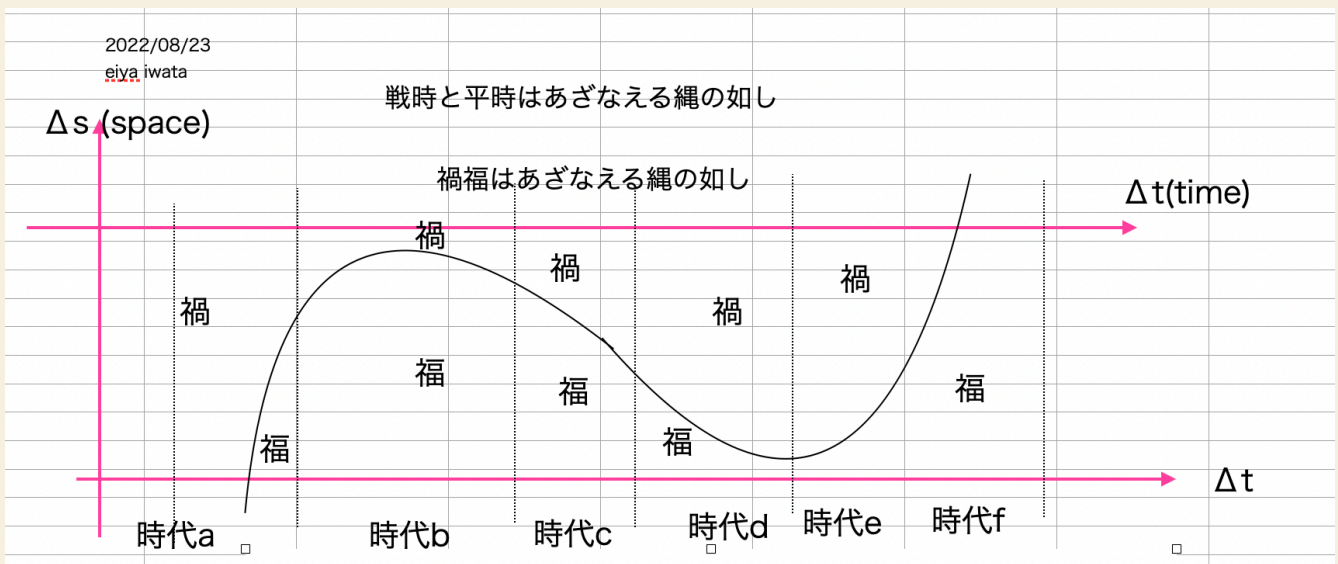
集団化・一体化の作用については、既に性愛と軍隊が理想の人間の組織だといふところで述べた通り。何故なら言語を必要としない程度にまで深く言葉が存在してゐるので、人間はすべての言語命令に服従するからであり、その限りに於いては最も少ない語彙で組織的な目的を完遂できるからである。これが集団化作用である。

個別化の作用は、言語藝術に誠に顕著であり、俗にいふ言語の自由とか表現の自由とかいふものが、この個別化作用の働く土俵であり土壌です。しかし、これは言語作用のコインの表裏一体のうちの裏と表でありますから、集団を、即ち国家と社会を忘れた言語の自由はなく、表現の自由もないことは、これも自明です。また、この個別化作用を忘れた、集団的言語機能の十全なる発揮もないのです。要するに、ここでもバランスが大事で、コインの両面の働きをどこに均衡させるかといふことです。更に要するに、戦争はその遂行国の総力戦だといふことです。ウクライナ紛争で露呈した大事な教訓、わたしたちが思ひ出し、銘記すべき教訓がこれです。ロシアの天然ガスに過度に頼つた西欧諸国の問題はここにあるわけです。限りなく他国との差異を 0 に、即ち自給自足があるべき姿です。グローバリズムの他力で差異を 0 にすることは、国を滅ぼすと

いふ今のドイツは其の好例であり、わたしたちへの教訓です。といふことは、国力の均衡を考えると、ここで、禍福はあざなへる縄の如し、といふ格言を思ひ出すのが良いでせう。これを言ひ換へて、

平時と戦時はあざなへる縄の如し

といふことにしよう。さうすると、平時の備へ、平時のリスク管理が、リスクの変化に応じてどのやうに如何に大切かが、次のやうに図示するとよくわかります。



時代a、時代d、時代eは戦時、時代b、時代fは平時です。時代cは、その中間状態にあつて、備へを強化すべき時代です。今の日本はどの時代にみるのかを考へてほしい。私の見解は時代aですが、この時代aを時代bに転ずることを考へねばなりません。要するに禍の文字で表されるリスクのない時代はない、といふことです。備へよ常に。

4.1.5.1 モダンとは何か

ここでは、モダンと呼ばれる時代の終はりと、次の時代である21世紀の今の時代の名前について論じたい。この時代の名前の変化が、そのまま核理論の遷移を意味してゐるので、次章を念頭に置いて、次の目次の元に話を続けます。核ミサイルと兵器の一つです。私たちは、この時代を令和と呼んでゐる。

1. モダンとは何か
2. 時代精神はいつどのやうに出現するか
3. 時代精神とモダンと核武装の関係
4. モダン再説

5. 20世紀と21世紀のモードと核理論
6. 核拡散時代のモードと精神
7. 日本は核保有する国と見做されてゐる
8. モダン・タイムスからモダン・イーラへ

1. モダンとは何か

この題は、西部邁さんが生前東京MX放送の自分の番組でよく論じてみたことの一つですが、今この問を立てたのは、どうも核ミサイル自体と、この兵器を保有するといふこと、そして其の保有する国家の関係を考へやうとするとモダンといふ言葉の意味を仔細に吟味することになりさうだからです。

西部さんの議論は、モダンはモードといふ概念に由来するのだといふ議論で、modernとmodeの関係を論じ、modeとは其のままfashion即ち流行と同義ですから、此れは時間の中での変化の繰り返し、といふと一寸余りに抽象化し過ぎて身も蓋もないやうな気がしますが、言ってみれば、まあ、やはりその通りだと私は思ふのです。

モードといふのは、秋のモードといつたり、夏のモードといつて、此れは被服の世界では其の季節の流行の衣装とか服装といつた意味ですから、モダンといふのも時代の衣装を表すと考へれば、その時代の流行は何か？といふことになり、畏友西村幸裕が三田の正門を一緒に出て歩きながら私に呟いたあの、時代精神といふものがあると思ふんだ、といつた一言の意味を今解くことができるのは、この場合、

時代の流行を生み出すのが時代の精神である

といふことだといふことに、今気づいたのです。

これが時代精神とモードまたはモダンの関係です。

私は言語の方から此のモードといふ概念を調べたことがあつて、例によつて例のごとくWebster Onlineにお伺ひを立てた（consultした）のであるが、そこには古代ギリシャ音楽の譜面が載つてゐて（譜面であるから此れはまた別に当たった資料だと思ふが英語の文字で同じことが書いてあつた）、ドレミファソラシドが一つのモードと書いてあつたのである。下降はドシラソファミレド。

同じこのモードは、資本主義の精華である外国為替相場や株式相場といふ相場、専門家たちのいふマーケットにも此のモードがあるのです。それは底を打つて、上昇に転ずる点から上昇を続けて天井を打つ点までを一つのモードといふのですが、此れは私が相場を研究して知ったことで、これを専門家つまりアナリストや、相場師つまりトレーダーたちは、この相場のモードを始めて相場分析に応用したグランヴィルといふ20世紀初頭のアメリカ人の名前をとつてグランヴィルの法則と呼んでゐる。要するに、相場の売り買いのドレミファソラシドである。上昇も下降も音楽同様に一つの単位として音階があるのは、音楽も相場も同じです。これが、私の相場認識です。この話をすると尽きないが、非常に人間の時間と歴史の周期的循環に関する本質的な、此れは話なのです。

2. 時代精神はいつどのやうに出現するか

時代は時間の下位概念ですから、当然時代は時間の本質、即ち差異を、即ち時間的差異である遅延を表してゐるし、時間の本質は遅延に現れる。従ひ、私たちは常に時代が終はつた後に其の時代の本質を知ることになり、振り返つてみて、ああこれが此の時代の本質であつたのかと知るのである。この知つた時代の本質、即ち時間的差異、即ち前の時代に隠れてゐたものが表に現れた其れを称して、私たちは時代の精神、約して時代精神といつてゐるわけです。

ですから、今の時代精神を私たちはなかなか知ることができない。自己を知ることが最も難しいのです。あなたは何のために（目的）、何故（原因・理由：cause and reason）生きてゐるのかといふ問に答えることが、個人の水準またはレベルでの、時代精神を捕まへる道筋が正しいことであるのは、いつの時代でも変わらないのは、この理由により、この原因によります。如何。

あなたが、自己を知らうと努め、生きる目的と理由を考へることのない限り、時代精神を知ることができないのです。即ち、国家水準の話に次元を上げて転ずれば、国家の時代精神を知ることにはできないといふことです。個人に時代精神があれば、個人の集合の最大のものである国家にも時代精神があるであらう。此の精神の発揮が国家意志の発露である。

3. 時代精神とモダンと核武装の関係

さて、ここでモダンが出てくるのです。何故なら、今アメリカ人の書いた核理論の本を読んでみて、この著者の使ふmodernといふ言葉の意味が、私たち日本人のモダンと大いに違つてゐると知つたからです。この本の名前はNuclear Strategy in the Modern Era (Princeton Studies in International History and Polics) といふのです。著者はVipin Narang。この本が面白いのは、日本がイランと同格の核保有蓋然性国家と見做されてゐることです。以下原文です。

The empirical tests establish the validity of the theory, thereby providing testable predictions for the postures that possible future nuclear states, such as Japan or Iran, might adopt.

この人の核武装理論は次の二つの段階からなつてゐる。実はまだ私はこの本の序文しか読んでゐないし、その途中なのである。核を持った上で、

1。いざとなったら核を使ふぞ、使ふぞと核使用の姿勢を見せる。これを posture・姿勢または態度と呼んでゐる。

この態度がとても核保有に関しては重要で、読むところ、これが実は核抑止力の本質です。使用を見せかけることおよび不使用の予断を敵にゆるさないこと。ですから、核抑止は、核を保有しなければ成立しないのです。それ故に、NPT（核不拡散）などといふ理屈は最初から矛盾であるといふことがわかります。核保有国が核不拡散を唱へても自己撞着に陥つてゐて不拡散は絶えず裏切られて、拡散の方向へと事態は進行する。

2。実際に核を使用する

この二つの段階で此の核理論は構成されてゐる。

ここでまだ議論すべきことは多々あつて、もし私が軍人であるならば、この核兵器といふ兵器または武器を論ずることは国家を論ずることになるので、非常に面白い教材（といふと軍人の方に失礼であるが）だと私は読みながら思った。

さて、しかし、この論議を惜しみながら、話を本題に戻すと、モダンである。

4。モダン再説

この著者の本の題名にある Modern とは、たかだか 25 年から 30 年を意味してゐるといふことである。私は目を疑つたが、しかし、さうなのだ。アメリカ人といふ奴は 1 世紀といふ時間の単位のうちのいはば会計学と同じ四半期 1/4 を modern と呼んでゐるのである。それで題名に in the modern era とあるわけ。25 年が ERA か？この語意の成り立つ理由を私は二つ考へることができる。

1 アメリカの短い歴史

建国以来たかだか 300 年にすら満たない国であるから、モダンといへば 10

0年単位のcenturyで歴史を考へると確かに25年から30年がモダンなのかもしれないといふこと。

歴史の長い日本ならば、明治時代から今までが近代、昭和から今までは現代、大正時代はその間か、どちらかといふと現代に入れるといふことではないかと思ふ。

2。20世紀と21世紀の時代の変化、即ちモードの切り替わりを考察し論ずるにはmodernといふ言葉を使はずには論ずることができず、それは21世紀の今2022年のことであれば（著作の発行は2014/5/20）、modern以外の形容詞をアングロサクソン族は持つてゐないのだらうといふことです。

いや、contemporaryといふ現代もあるではないかと思つてみましたが、此れは時代を輪切りにして、まあ、金太郎飴を切るとか大根や人参を輪切りにするといふやうなもので、通時的な時代の比較がcontemporaryではできないのです。それほど私たちの思考は言葉に、もつといへば言語に拘束されてゐる。自由といふものが本当に純粹にあるとすれば、それは言語からの自由であるが、しかし本当に言語から自由になつたら人間は正気を失ひ、狂気に陥るのだから厄介な私たちは生き物なのである。動物に言語がなく、人間に言語があるといふことは、自由との関係では、核なるものなのである（このジョークは誉めてほしいな）。斯（か）くなると言い換へよう。

5。20世紀と21世紀のモードと核理論

それでは核をめぐつての20世紀と21世のモードの違い見るには、明らかにAC2000年で時代が転換したので、モードが転じ、まあ以上の論からいへば時代もモードも同じ意味であるが、さう芭蕉のいふ流行（モード・時代）と不易（精神）の関係の差異の意味であるが、このモードとモダンの違いを、この著者は核のあり方の差異として違ひとして論じてゐるのである。

何が違ふかといへば、核の不拡散から拡散といふ方向へモードが変はつたといつてゐる。音楽や相場と同様に、これは上昇か下降かといふことが問題になるが、二項対立でものを考へるのは西欧米人に任せてをいて、私たちは第三の項を超越論に求めることにしよう。

相場には次の三つのモードがある。

- 1。上昇↑
- 2。持ち合ひ→

3. 下降↓

相場は個人の売買の現れであり、国家ならば需要と供給が、この現れである。相場は、景気と同様に、1・2・3を繰り返す。またモードが反対に転ずると3・2・1を繰り返す。Power politicsから見ると、2が理想の均衡の状態であるが、しかし商売もさう、相場もさうで、売り買いが拮抗して均衡状態であり、そこに差異がなければ儲けはなく、差益がないので、利益もないのだ。しかしこれは経済の話である。

他方正反対に、政治の理想の姿は政治的力の均衡である。といふことがわかる。なるほど、政治と経済の関係は全く相矛盾するのだといふことを知るのだ。国家とはこの一見（一見である、何故なら私たちは日本人であり二項対立を超えた縄文時代以来の超越論者だからだ）矛盾したものを統一し統合する政治をなすことだといふことになります。

経済は上昇と下降を求め、それも急落と高騰であればあるほど儲かると思ひ（これがユダヤ人の考へ、だから急落相場を演出して好んで空売りで儲ける）、政治は民政の安定を、即ち保ち合ひを、即ち均衡を実現しなければ悪政となる。今の日本は経済に政治家も官僚も経営者も鼻ヅラ引き廻されてゐる惨状で、これできたのが平成元年からの30年といふことです。これが平成といふ時代の問題であつた。さて、この問題を如何に解決するか。

話をモダンと核に戻すとかうなる。

6. 核拡散時代のモードと精神

モードは核拡散の時代に転じたのであるから（これを一層鮮明にしたのがプーチンのウクライナ侵攻である）、この時代の精神を私たちは問はねばならない。

核は明らかに政治の問題であつて、経済の問題ではない。とすれば、均衡を求めるべきであつて、不均衡を即ち核の独占と不拡散は時代遅れの考へであることがわかる。そして何故なら、均衡を求めることは平和を求めることだからである。といふことは、核の勢力の均衡とは、核による平和を国家の水準で、国家間で均衡を図るといふことである。均衡とは互いの差異を0にすることであるから、当然に今朝見たネット記事のやうな次第になるのだ。

「核先制不使用」を削除 NPT文書改定

【ニューヨーク共同】ニューヨークの国連本部で開催中の核拡散防止条約

(NPT) 再検討会議は25日、最終文書案を改定し、原案にあった核保有国に「核の先制不使用」政策採用を求める記述を削除した。大幅に後退した形。26日の閉幕までの採択に向け、交渉は依然緊迫の度を強めている。ロシアが占拠するウクライナ南部のザポロジエ原発を巡っては、周辺での軍事活動によりウクライナ当局が管理不能となっていることに「重大な懸念」を表明する一方、これまで盛り込んでいたロシアを名指した形での表現は含めなかった。

これは、共同通信の配信によるYahooの記事であるが (<https://news.yahoo.co.jp/articles/fe77e4d8b36d89ca57d8bd70fb48d2cb99fe3fe4>)、この記事を読むと、ロシアとウクライナ紛争を契機に改定されたことがわかる。共同通信の記事は間違っている。時代精神を汲み取っていないからだ。

1. 原案にあった核保有国に「核の先制不使用」政策採用を求める記述を削除した。大幅に後退した形。

これは大幅に進歩したといふべきである。核の不使用などを口にしてはならないのだ。21世紀のモダンの時代には。この核の先制使用を口にしないどころか、口にするといふ態度または姿勢のことを、上の著作の著者はpostureと呼んでゐることは上述の通り。中国もロシアも正しいメッセージを発してゐる。そしてこのメッセージは、核拡散時代の精神を表してゐるのだ。曰く、最終戦争は起こさないといふ精神である。この精神の現れを逆説ととるか正説ととるかで国家間で意見がわかるであらう。私たちは超越論なので、どちらかが常に正しいとは理解しない。これは表裏一体で、あることの矛盾して見える両面だと理解する。その、それでは一体の体とは何か？これを問ふべきである。日本人の、これは仕事だ。

2. ロシアが占拠するウクライナ南部のザポロジエ原発を巡っては、周辺での軍事活動によりウクライナ当局が管理不能となっていることに「重大な懸念」を表明する一方、これまで盛り込んでいたロシアを名指した形での表現は含めなかった。

とあるこの段落から何がわかるかといふと、

(1) ロシアが今回の紛争で核のあり方の議論を惹起したといふこと。しかし、

(2) ロシアの名前が出せなかつたといふこと (それはさうだらう、これは一般性を持たねばならぬ条約といふ国家間契約である) しかし、

(3) ウクライナ原発施設の管理不能であること。これは核保有国の恐れてゐるのは核兵器の保有以前に核エネルギー創造能力であることがわかる。要するに放射能の拡散を恐れてゐるのだ。その次に恐れてゐるのが核兵器製造能力の発揮であるとわかる。

(4) 原発施設はかうなれば、核施設である。といふことで「管理不能となっていることに「重大な懸念」を表明する」といふこの「重大な懸念」の言葉の意味は、今やうやつとプーチンのお陰で、西欧米核保有国家も核拡散のモードに気づき始めたが、まだ言葉にして表すだけの勇気がないといふことを示してゐる。政治家たちがさうなれば、国内政治も混乱するであらうことは想像がつく。そして実際にドイツもフランスもアメリカも内政は混乱してゐる。日本も同様。一時が万事である。

7. 日本は核保有する国と見做されてゐる

この見出しをもう少し丁寧に砕いていへば、

日本は次に核保有することのできる (possibleな又はprobableな) 国と核保有国家論上思はれてゐる

といふことである。

この著者は各使用の場合と方法の違いを三つに分類して、その中の一つに既に日本の場合が含まれてゐる。このとき、日本の場合はイランと同格である。

アメリカから見たら日本は、核保有といふ論題では、イランと同格なのである。このことを日本人は心に銘記すべきである。即ち、日本の核保有を論じる場合には、同時にアメリカの日本およびイランに対する政策を論じることになるのだ。アメリカの対イラン核制裁を、アメリカが日本に適用することをシミュレーションして考へねば、日本の核保有の是非は結論が、このモダンの時代(ERA)には、できないといふことである。

The empirical tests establish the validity of the theory, thereby providing testable predictions for the postures that possible future nuclear states, such as Japan or Iran, might adopt.

問題は核実験は、実際の国家を相手にはできないといふことである。The empirical tests establish the validity of the theory (経験的な試験をすれば、核理論の妥当性が確立する。妥当性と訳したvalidityとは合法的に世に通用するといふ意味である)。アメリカはこの実験を核の検証のために日本に行った

のである。何故なら妥当性を証明するためには検証が必要であるからだ。それで日本に核を保有するな？核不拡散だと？ふざけるな！といふことである。主張が自己矛盾であり、論理矛盾である。こんな詐欺的国家を信頼して日本の未来があるのか？ないのだ。何故なら矛盾に対して、どうやら、かく考察を試みれば、次の三つの解決法があるからだ。

1. 嘘をつく（これは日本に対する核の傘は嘘だ虚構だといつたキッシンジャーと国務長官マクナマラの発言をミアシャイマーが述べている：Why Leaders Lie: The Truth About Lying in International Politics with John Mearsheimer : <https://www.youtube.com/watch?v=VPe5f5dcrGEI>) 18分以前にこの分類の1項目を述べている。何故国際政治で指導者たちは嘘をつくのかわといふ演題です。

ミアシャイマーは、この嘘をinterstate lieと分類している。私の考へでは、このinterstate lieには事実を隠すことも含まれている。だから、国際交渉での政治家の大事な技術はinterstate lieの嘘をつく技術である。アメリカの核の傘は嘘だったとベルリンの壁の崩壊した以前の時点で上記二人の政治家がEUで発言しているのだ。ヨーロッパに対するアメリカの傘も嘘なのである。

2. 武力で一方向的に威圧して、その矛盾について言はせない（1：1の関係に於いて）。例：これまでの日本がこの例である。威圧者はアメリカだ。

3. 複数の他国と謀って、共同でその国（例：日本）を封じ込める（例：アメリカの、北朝鮮政策を含む、中国と組んでの対日抑圧政策）

日本の政治家もこれ位の複数の政策を組み合わせて、アメリカみたいなどとはいぬが、日本独自の外交戦略を考へてもらいたいものだ。

8. モダン・タイムスからモダン・イーラへ

チャップリンのモダン・タイムスは、いよいよ終はり、プーチンと世の人の呼ぶ独裁者のお陰で、モダン・イーラになったとは、誠にめでたいことである。ところで、独裁者とは一体何だ？プーチンは本当に独裁者か？国会で万機公論に決すべきことをせずに、ダボスの猿廻しシュバブとバイデン・アメリカのいふことに唯々諾々としたがつて好き勝手な内政と外交をおこなっている岸田何某といふ現職総理こそが独裁者ではないのか。

付記1：国家と体の隠喩関係について

私がこの日本一極国家論の中で殊に軍事と武器に関して論を展開できる論理的

な根拠は、プラトンの国家論の中で、ソクラテスが曰く、国家を人体に喩へて論じると何故こんなに上手く国家の説明ができるのであろうかと、国家に人体を隠喩(メタファ)として適用して国家の本質を論ずると非常に円滑に国家の説明ができることへの此の哲学者の驚きの念に基づいてある。問題があれば、必要に応じてプラトンの国家論に戻りませう。

考へ方はかうである：

個人の体　　：武器の進化（時間と空間の差異を0にすること）

1. 脳の延長は、コンピュータ→量子コンピュータ
2. 目の延長は、（1）望遠鏡→天体望遠鏡（2）顕微鏡→電子顕微鏡
3. 手と腕の延長は、刀→槍・薙刀→弓矢→銃弾→大砲→ミサイル
4. 脚の延長は、自転車→自動車→装甲車・戦車

私たちはこれらの能力を組み合はせて使つてある。そして今や、コンピューターといふ脳の延長が、他の体の延長を駆使して仮想現実での、即ち延長の戦争を戦つてゐるのだ（これを私は論理層の戦争と呼んでゐる）。さて、それならば、国家としては次のやうな隠喩の適用となる。

国家といふ体　　：武器の進化（時間と空間の差異を0にすること）

上記1から4の総体の延長は、物理層と論理層での軍隊と軍事力の進化（にはかならないことが判る）である。

付記2：ゲームと試合の違いについて

私は日本人に違和感を抱いてもらふためにGAME CHANGEといふ用語を使つて来ました。何故戦争をゲームだといふものの考へ方に私たちは違和感を持つのでせうか？それは、西欧米のアングロ・サクソン語族のEAWAC複合体の白人種たちにとっては、ゲームは肉体の鍛錬の延長線上にあり、だから運動・スポーツとは軍事教練の一環であり、それ故に明治政府は国民の間に体操を広め、運動を広めたのは、西欧米にならつて国家の軍事力の基礎能力の育成と強化であつたからです。さう、私たちは今もNHKのラジオ放送を朝聴きながらラジオ体操をしてゐる。

しかし、わたしたちにとつて体の延長である武器を手にして訓練するのは道であつて、道である以上は修業の道なのであり、スポーツのやうに勝ち負けの二項対立を超越した世界を求めてこれを実現しようとして来たからです。もつとはつきりいへば、生死の一大事を超越するために、即ち自己を訓練し鍛錬するために武道が、日本人には、あるのです。

ここで、決定的に、スポーツと試合とは異なります。

先の戦後にアメリカは、日本人から道徳を奪ふために、3Sを導入して流行させたといふことが巷間いはれてゐて、それは次の三つのSであつた。

スポーツ（運動）

セックス（性愛）

スクリーン（映画）

今この三つを読むと、スクリーンはアメリカのプロパガンダの手段であり、そこには確かにしょっちゅうキスばかりして、何かあればI love youといふ男女が、家庭の中でも恋人同士でも仕事場でも、登場する。これは私はアメリカ人の建国の由来に不安感を持つてゐるので、不安を消すおまじないであり呪文だといふことは、私の一連の「贗物の国アメリカ」論の一環として論じた。しかし日本人の建国には古事記（哲学と形而上学の書）と日本書紀（歴史書）があるので何の不安もありません。アメリカには哲学がないのです。私たちがスポーツと呼ぶ彼らの世界は国家の軍事力に關係して二項対立の勝ち負けの世界だと知つてゐて、超越論の精神で敵の土俵に乗つて勝負すれば良いのです。セックスといふものも、私たちの国のふるさからいつでもアメリカ人よりも遙かに文化的に洗練されてゐて、性愛の範囲が江戸時代に戻れば、男女の自由な組み合わせを浮世絵でみることができるようですので、キリスト教といふ性愛を禁圧して男女の差別をもうけた偽善の教義を拒否すればよいだけで、お断りすればよいのです。日本人が主体的に考へれば良いのです。

さて、本題に戻れば、彼奴等はGAMEだと戦争をいふやうな考へでやつてきたわけですから、それでは敵の土俵に乗れば一体どう戦ふことになるかといふことを、私は考へながら、この論考を書いてゐるのです。そして、まさか戦争が試合だといふ言葉の用法はやはりおかしいので、戦争は漢語で戦争、いくさは和語でいくさ、しかしこれを敵味方の二項対立と勝ち負けの二項対立の組み合わせで戦争を予測すると、一体どのやうな組み合わせが日本の国と日本人にとつて最善か最大の力を発揮するかといふ、ビジネスによくいふ問題解決のための最適解・optimal solutionを述べてゐるわけです。正確にいふと、そのための基礎的な論理を考へてゐるのです。といふわけで、次は、国家の軍事力の最大のものである核ミサイル保有論です。

4.1.7 日本国家核ミサイル保有論

4.1.7.1 戦争とは何か再度

(続く)

ネット・モナド論

(33)

プーチンは何を考へてゐるか6

何故バイデンが金の市場からプーチンのロシアを締め出しても逆効果でダボスのthe Great Resetが我が身にブーメランになつて帰ってくるのか

岩田英哉

ALERT: How the Russian Gold Ban Speeds Up THE GREAT RESET

<https://goldsilver.com/blog/alert-how-the-russian-gold-ban-speeds-up-the-great-reset/>

上掲のリンクの動画を見てください。以下要約と私の感想を申し述べます。

この件名を要するに、ロシアを金の売買市場から締め出しても、アメリカの経済が混乱し、アメリカを弱体化するだけだといふ因果の連鎖の解説をしてゐるのが、冒頭に掲示のURLのリンクの動画です。これは金と銀の投資家のためのチャンネルです。

- 1。ロシアを金の売買市場から締め出しても、アメリカの経済が混乱し、アメリカを弱体化するだけであること
- 2。今日の2022/07/11の時点での配信記事によれば、バイデンの支持率は30%を切って、29%であること
- 3。上掲の動画によれば、バイデンはこれ以前の制裁をロシアに課した時から、この上級投資家たち、といふことは表には出ないにせよ相場の世界の玄人筋には、sanction's amateur、日本語ならば制裁のアマチュア、もつと日本語の特性を活かして表記すれば制裁の甘チュアと呼ばれてゐること。制裁の甘チャンといふ方が良いかも知れない。最初の制裁で米国内の物価が急騰してインフレになつてゐることは国際世間に既報の通り。

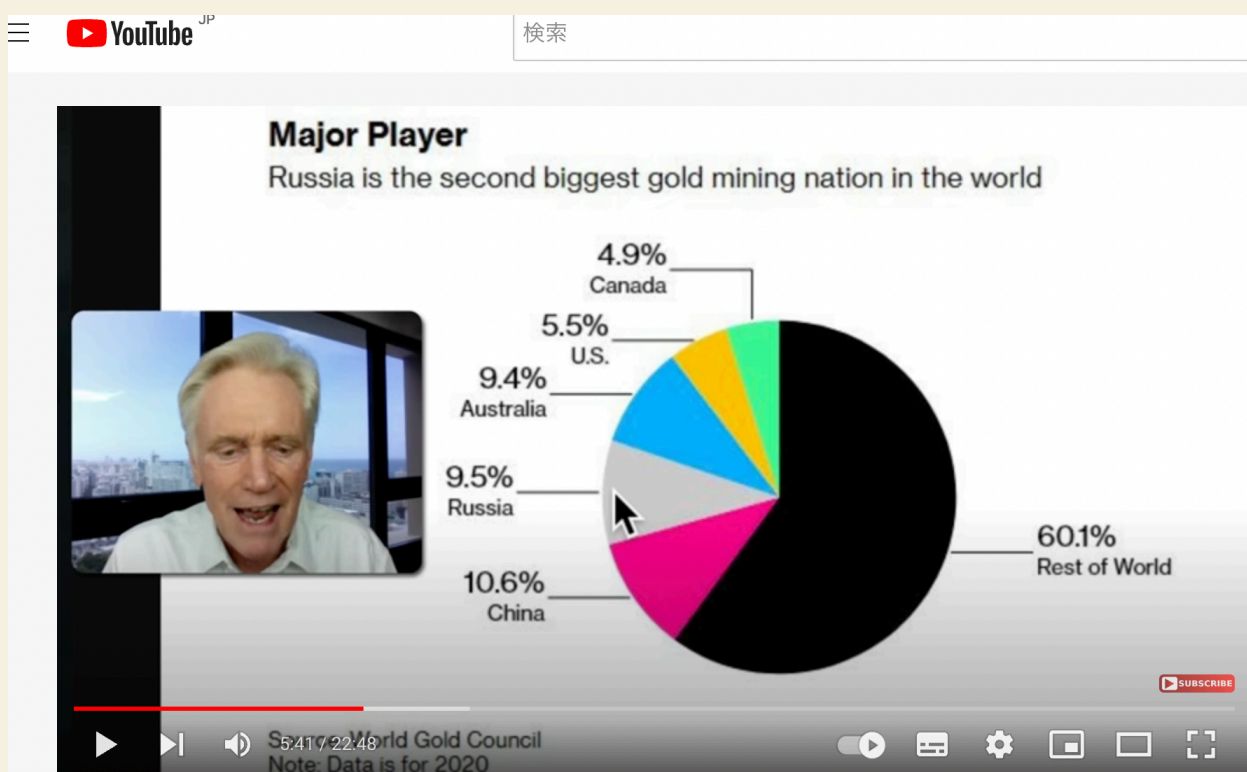
私が、この回の投稿で説明したいのは、何故FRBは此のインフレを退治できないか、抑制できないか、もつと直裁にいへばコントロールできないかといふその原因の解説です。非常に単純明解な説明をします。

この経済の混乱の原因は：

- 1。プーチンのロシアがウクライナに限定的攻撃を仕掛けたことが直接の原因ではなく（これは切っ掛けです）、これを契機に西欧米日が経済的な制裁を課したことが原因であること
- 2。この制裁によつて、ウクライナの小麦、鉱物などの近代国家経営資源の供給が、ロシアの金・石油・食料などの供給とともに、停止してしまつたので、昨日今日の世界中の経済的インフレを引き起こしてゐること、これが結果であること。



3。バイデンはこれに輪をかけて、更に金にまで制裁をロシアに課したが、ロシアはこんな制裁が屁でもないのは次の円グラフを見るとよくわかります。ロシアと中国は連携してこの制裁に対処してゐる筈なので、このダボス会議の敵軸の一つ（もう一つはサウジアラビアーロシア軸であることは此の通信にて既報）は、応戦体制を整えてゐる。このグラフによれば、この金の市場からの締め出しが無意味であるどころか、西側諸国に害を与えることが自明であると知れる。ロシアと中国の金の市場に占める供給比率は全体の30%である。



ALERT: How the Russian Gold Ban Speeds Up THE GREAT RESET

106,866 回視聴...

6811 低評 共有 オフライン クリップ 保存 ...

これに対して、アメリカは5.5%、これにカナダ、イギリス、オーストラリアを加へても19.8%。更に、黒色の面積を占める60.1%がその他の諸国といふことであれば、これらの国はおよそ国連の対ロシア経済制裁に参加しなかつた国々といふことになりますから、たつた20%弱の勢力でアメリカは金の市場をコントロールしようとしたといふことになつて、これは最初から無理な話なので、投資家たちは大笑ひしてゐるといふわけです。上の動画の冒頭で、解説者が視聴者の質問に答えて、お前はこの頃笑つてばかりだが少し真面目にやれと言はれるのであるが、それは無理だといふ話をして、金の制裁の無力・無意味をいふわけです。

さて、ここのあの優秀なスイス本社のアナリストPozsarといふ若者のかいたBretton Woods IIIの論文に戻つて、一体なぜバイデンの、従ひダボス会議の対露

経済制裁が制裁を課した国へのブーメランになつて各国中央銀行の制御不能のインフレの高騰を結果してゐるかといふ話に入ります。この事情は日本も同じです。黒田日銀には、この構造的な世界経済のparadigma shiftingにとつても従来の利上げ・利下げの金融政策では、ある程度のできへコントロールは不可能である理由を述べます。

Pozarの論文による用語を使ひます。それは次のやうな分類によるのでした。

- 1。Inside money
- 2。Outside money

上記1の内部貨幣とは、これまでのBretton Woods IIで主力を占めて世界を席卷して来たドル、連動してEU、そしてこれら二つの基軸通貨にいいやうに使われてきた我々が円貨のことをいひます。これは、従来の既存の用語では、ことを曖昧にされてfiat currency、フィアット通貨と業界では呼ばれて来た種類の通貨で、担保となるものを持たない通貨のことです。いはば、砂上の楼閣通貨といふべき実態が、このウクライナ問題で露呈したわけです。

実は、この内部通貨に対して、この内部通貨を保証してまたは保障してゐたお金があつたわけですが、これがoutside moneyと此のハンサムボーイ・アナリストの命名した食料とエネルギーといふ近代国家経営資源です。これはmoneyであるといふ認識を新たにしたい。西欧米の国際金融資本家の歴史が、アジア・アフリカ・中南米、西アジアの中近東でのこれらの一次通貨（と私は呼んでゐたのですが）を収奪し、略奪して来たことを思ひ出して欲しい。そのためには嘘のプロパガンダも辞さずに、戦争をアメリカは仕掛けて、これに西欧日を加担させてきた。

この外部通貨の供給の大部の停止によつて惹起されたのが、西欧日でのインフレだといふわけです。これをいひかへれば、一次通貨即ち食料とエネルギーといふ命の貨幣が、内部通貨の領域に大洪水（これは一神教の大好きな終末用語の一つです）が発生して、今度はノアの方舟であるべきダボス会議も一緒に洪水に呑み込まれてしまつてゐるといふ世界の構図が、今起きてゐることです。日本人にもかくして旧約聖書が大変親しい身近な日常になつたといふことに、東西の相互理解のために慶（よ）みすべきことです。めでたきかな、国際世の中。

経済制裁が制裁を課した国へのブーメランになつて各国中央銀行の制御不能のインフレの高騰を結果してゐるかといふ話に入ります。この事情は日本も同じです。黒田日銀には、この構造的な世界経済のparadigma shiftingにとつても従来の利



上げ・利下げの金融政策では、ある程度のできへコントロールは不可能である理由を述べます。

ここで用語の整理をしてをきます。

お金の分類

Money：貨幣

Currency: 通貨

上記分類で明らかなやうに、私たち日本人は貨幣も通貨も、moneyもcurrencyも一言でお金と呼んで、その二つの識別も区別もしていません。私たちにとっては、内部も外部も等価であり等価交換での世界であるといふこの縄文時代太古以来の数学topologyは、ここにも明らかで、私たちには本来こんな悩みはないのです（詳細は私の『縄文紀元論』を参照）。

上の二つの用語の大小をいふと、

Money・貨幣は上位概念（類概念）

Currency・通貨は下位概念（種概念）

といふことになります。

貨幣の下位には世界中の国家主権別の個別通貨の名前が全て含まれてあるといふことです。これが類と種の関係です。人類の下に人種があるといふことです。言葉は全て、目に見えないが、体系的にできてある。これは個別言語を問いません。

さて、以上のことだとして、この貨幣と通貨の関係を二層にしてマトリクスを作成しましたので、これをご覧ください。これをもとに更に、何故FRBも日銀も自国通貨の制御・コントロールが不能であるかといふ説明をします。

ダウンロードは：shorturl.at/hstY1



宇宙原理		貨幣の分類	Pozsar論文による Bretton Woods III 用語	食糧	鉱物	燃料	市場	金利	二次通貨1 (国家発行通貨)	二次通貨2 (国家発行通貨)	有価証券		備考
第一項	世界は差異である	二次通貨	Inside Money	-	-	-	FX・株式市場	金利2	国家主権発行通貨単位	国債	株式・債券	手形・小切手	これらの二次通貨は皆 token (債の通貨) である
第二項	価値は等価で偏在する	一次通貨	Outside Money	米、バイナップル、バナナ、椰子の実、小麦、トウモロコシ、その他	金、銀、プラチナ、その他	原油、天然ガス、シェールガス、その他	先物市場	金利1	-	-	株価指数	-	-

先物市場さきものしじょう future market	問題
商品、金利、通貨、株価指数などの先物取引が行なわれる市場。シカゴの CME が代表的である。先物取引とは、将来のある時期に商品がある一定の値段で売り渡す契約を交わすものだが、通常は受け渡しの時期までに反対売買をして、当初の契約額との差額だけを決済する。(shorturl.at/foHP2)	上図で二次通貨二つの発行主体が国家としてあるものが、実態は各国中央銀行（日本ならば日銀）が発行してあってこれがバーゼルの世界中央銀行につながってあることが国家の一大問題である。これを解決しない限り、日本の独立はない。日銀のメール配信を受けて読むと、日銀の社員は日本の国民のための仕事を全然してない。こんな機関は要らないので、1日も早く解散さすべきである。

Inside moneyはドル・ユーロ・円が代表的であるやうに、Outside moneyに対してはtoken、即ち裏付けのない質の通貨であるといふ認識を得て下さい。質の通貨といふ言葉に騙されないで欲しい。表立って紙幣とかコインとかといふ形態をとって流通する通貨は皆tokenであり質の通貨であるのは、私たちがこの二重構造を本来の経済運営上必要としてゐるからなのです。問題はドル・ユーロ・円に裏付けとなる実体的なoutside moneyが其の外部に、その周縁部に存在してゐないことなのです。それ故に、outsideから命の元である食料とエネルギーのmoneyが個別の名前で小麦とか米とか原油とか天然ガスなどといふ名前で西欧米諸国に流入し、従来の見せかけの偽の秩序を破壊してゐるといふわけです。これは従来の金利と通貨の高低の關係の因果の連鎖図を引用して、どこにこの因果の連鎖の破壊があつたかを示し、何故それ故にFRBも日銀も物価のコントロールが不能であるのかの解説としますので、ご覧ください。引用する動画チャンネルは『後藤達也・経済チャンネル後藤達也・経済チャンネル』：13:55から：「利上げ」とは？ そもそも経済解説#2 (2022/5/29)：<https://www.youtube.com/watch?v=Mlczu2pDs70>

上掲図に赤い背景に白抜きでコメントをかき入れましたので、お分かりと思ひますが、

- 1。従来は利上げをすれば、内部通貨の世界だけで有効であつた施策が、金利を上げる→需要が弱まる となる筈であつたものを、この度は、
- 2。金利を上げる→需要が強まる となつてゐる。

この上記2の理由は既述の通りの理由であつて、外部通貨たる食料とエネルギーへの需要は強まりこそすれ、弱くならないからである。この内部と外部に亘たる領域を既存の経済学は前提にしてゐない。即ち、近代西欧の経済学の崩壊である。アダム・スミスの『国富論』を読んで不審に思ったのは、原始的市場の形態はまづ物々交換であるといふ説明でしたが、実はこれは単なる物々交換などといふ代物ではなかつたといふことを、私たちは今身を持って知つてゐるといふ令和の四年の夏であるといふことなのです。

静けさや岩に滲み入る蝉の声



【カフカの箴言7】

岩田英哉

【原文】

Eines der wirksamsten Verführungsmittel des Bösen ist die Aufforderung zum Kampf.

【和訳】

一番効果のある、悪事のする誘惑の手段のひとつは、闘いへの挑戦である。

【解釈と鑑賞】

保険の世界に生きた優秀なビジネスマンであったカフカが、これをどのような場合に思ったのか、興味のあるところです。

保険という、人間の生命のことに、それを失うことを秤にかけて計算をする商品を販売する世界で、このような警句を思うことは、屢々、あったことなのでしょう。

見かけ上、この警句は、保険とは何の関係もないように見えますけれども。



【ショーペンハウアーの箴言1】

岩田英哉

【原文】

Gesundheit ist nicht alles, aber ohne Gesundheit ist alles nichts.

【和訳】

健康はすべてではない、しかし、健康がなければ、すべては、ない。

【解釈と鑑賞】

わたしは何故か子供のころから、格言や箴言が好きで、英語を学び始めた中学生のころから既にそうで、小さな英語の格言集を買って、繰り返し読んだことを思い出します。

この癖（へき）は、日本語の世界でも同じですので、そうしてみると、やはり、外国語とは言わず、言語と格言、言語と箴言ということで、何かわたしには理由のある意義深いものが、どこかにあるのだということになります。

これは、言うまでもなく、解釈するまでもないことでしょう。

週明け早々にわたしは入院する予定なのですが、そのような身である者にとっては、その直前の箴言としては、格好の贈物ということになります。

格言や箴言のよさは、何ごともよきものはそうですが、年月とともに、その意義深さ、意味深さがこころに響き、納得を以て理解されるようになるということです。

若い人がこの箴言を読めば、当たり前と思う事でしょうが、老いつつあることを自覚した人間が読めば、それは死を考え、如何にその到来を先延ばしにするか、そのために健康を大切にするかという切実な話になります。



高天原便り

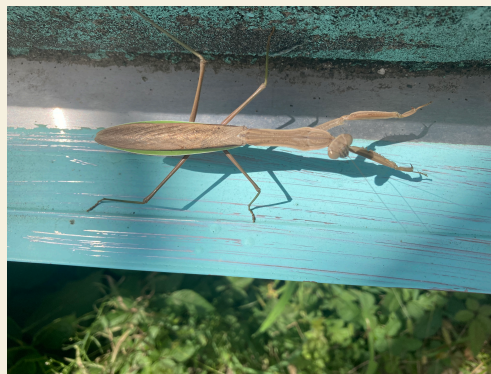
(6)

高天原のジェダイの騎士

岩田英哉

高天原にゐると時間を忘れる。日付も忘れるし、曜日も忘れるのは困つことだ。昨日は通りかかると、行きつけの蕎麦屋が定休日だったのだから、昨日は火曜日だと思つてゐたら、今日が月曜日なのだ。一体世の中はどうなつてゐるのだらう。お前の生活と頭がどうかなつてゐるのだといはれさうだが、さういはれてみれば、その通りだと思ふのだ。

昨日、本当に昨日だったと思ふが、庵の小さな門を出る前に郵便受けを見ようと近づくと、大きなカマキリが郵便受けの箱の上にあつた。



引っ越して来た当初井戸の側に住んでゐた蛙のケロケロのミコトはその後近所の敷地に鳴いてゐる別の蛙があつたので、きつと雌の蛙であつたに違ひない、いつの間にかそちらに引っ越してしまつたので、今年の夏が来て知り合つた生き物は、ヤモリだとか、トンボだとかアゲハ蝶だとか、藪蚊だとか、蠅だとか、そんな生き物たちであつた。今も吹き抜けの高い天井の上の方でブンブンいつて飛んでゐる奴がゐる。7月に余りに蠅が五月蠅いので、子供の頃見知つてゐた蠅取りの吸ひ取り紙を買つて、と庭向きの二つ台所出窓に垂らしてゐたら一向に蠅がかからず、何かの拍子に両方のハエ取り紙に私がくつついてしまつた。これでは人間取り紙ではないかとメーカーに苦情をいはうと思つてゐるうちに早や秋であるので、やめようと思ふ。来年は蠅取り紙は使ひません。それから、玄関の梁に蜘蛛の巣をつくつて蜘蛛が住んでゐる。

私はもうずっと貫頭衣といふなら貫頭衣、ワンピースと女性のいふならワンピースを着て生活してゐるが、このいつも来てゐるワンピースはアマゾンで購入した勿論女性用のもので、サイズは10L。フランス窓にわが身を映して眺めれば、映画『スター・ウォーズ』のエピソード1「The Phantom Menace」に出てくる、ジェダイの騎士オビワンのメンターであるリアム・ニーソン演じるQui-Gon



にそつくりである。これでライトセーバーを手にとると、わたしはさながら高天原のジェダイの騎士である。

これを着て土地の道路を買ひ出しに出歩くものだから、
どうやらこの土地の有名人に隣近所ではなつてしまつて、
おまけに夏で暑いので国津の世界の東京といふ都会で買った
赤い縁のついた大きな帽子をかぶつてゐるので、驚いた
近隣の人が（だいたいこんなのは女性にきまつてゐる）
白ナスさんに電話して、一体あの方は誰？知ってる？あなた
のご近所？などと、話を聞く限り少なくとも二人が電話
で聞きに来たとのことである。

私は結果としてデカルトと同じ人生観の持ち主であるから、
有名などになるつもりは全くなく、隠れて生きることが最高
の人生であるといふ人生観であるからして、こんなことは困
るのである。デカルトの座右の銘二つのうちの一つは、よく
隠れたものは良く生きたものであるといふので、この箴言はローマの文人のもの
であるが、ローマ人であらうがフランス人であらうが日本人であらうが、これは
古今東西共通の或る人生の価値と意義について教へてゐるのだ。それ故に、これ
と一対のデカルトのもう一つの銘は、己を知らざるものは死に臨んで死を恐れ
る、といふものである。cogito ergo sumである。これで、最初の銘の意味も知
られやうといふものです。

リアム・ニーソンといふハリウッドの役者が、私はこの頃のご糞屑で、ある映画
で女房に逃げられてショボい中年男を演じてみてファンになつたのであるが、女
房に逃げられて独り身の中年男のいい味を出してゐるのだ。何故私がこの役を演
ずるリアム・ニーソンに惹かれるのかはわからない。多分、その役柄は私にない
ものを持ってゐるか、私と同じものを持ってゐるかだ。この女房に逃げられた冴
えない中年男といふのは、カウボーイの末裔に違ひない。名前のニーソンはス
エーデンかデンマークの名前なので、きつとご先祖さまはヴァイキングであつ
て、昔々にブリテン島かアイルランドあたりに来て、そのまま土地の娘に惚れて
住み着いた男の子孫なのであらう。（しかしこういふ人生はなかなか良いの
う。。。）Wikiには北アイルランド出身とある。ヴァイキングの子孫がハリウッ
ドのいい役者になつたのだ。ある時、西部劇の名作の一つ『シェーン』を見て冒
頭、主人公のガンマン、シェーンが一人馬に乗つて荒野の向かうからやつて来る
シーンを見た瞬間に胸がキュンとなつて思はず涙がでさうになつたことがある
が、どうも私はかういふ一人で戦ふカウボーイみたいな男が（シェーンは若者だ
が）好きなのであらう。といつても、男の手を握ることなどあるわけもなく、や



はり女性の柔らかな手を握る方が私は良いのだ。

(ここで、天照大神が登場する。何故か藤純子演ずる緋牡丹お龍にそつくりである)

天照大神：それで、お前は毎日のやうにして高いバス代を払つてわざわざ〒314-0031高天原鹿嶋市宮中1970-1の牛井の吉野家に通ひ詰めてゐるのは、あのカウンターの向かうにゐる若い美しい娘が目当てであらう。この間お前はそつとその娘の美しい手を握つてゐたな。

私：(平伏して) ははー、恐れ多くもご覧になつてゐらつしやいましたか。はい、仰せの通りです。あの美しい娘の手を握るためにわたしは毎日のやうにして高いバス代を払つてわざわざ〒314-0031高天原鹿嶋市宮中1970-1の牛井の吉野家に通ひ詰めてゐるのです。

天照大神：私は日の光です、高天原をあまねく照らしてお前の浮気心も店の隅々にまで返照してお見通しです。それは、当たり前です。握るなら、私の手を握りなさい。

私：ひえええ、それだけのご勘弁を(といつてまた平伏する)。

天照大神：赦しまへんえ。(何故か鹿嶋弁ではない)

(天照大神、まだ次回に続きますよと独りごちて退場する)

といふことで、今日は月曜日ならば蕎麦屋があいてゐるので、昼間から冷酒に蕎麦といふ中食(ちゅうじきと読んで欲しい)である。道中また、高天原のジェダイの騎士は鵜の目鷹の目で見られるのであらう。ならば、私は恰も高天原のスタアである。困ったことである。なんとか透明人間になる薬はないものか。安部公房の遺作『さまじまな父』の父親みたいに、飲むと透明になつてしまふ薬が。

ハリウッドの私、
リアム・ニーソン



縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く

(35)

5.36 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は
一体どんな姿をしているのか

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能基呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱えられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなったか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2

5.16.5 誰が「しろし召す」誰が「聞こし召す」のか

5.17 いほりとは何か

5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか

5.19 クラとは何か

5.22 「日本列島位相史」の最新版を

5.23 神武天皇のやまとことばの意味は何か

5.24 世界史の中の神武天皇

5.25 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？

5.27 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？

5.28 鹿島神宮とは何か

5.29 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか

5.30 鹿島神宮とは何か2：鹿島神宮の位置と東西南北の鳥居の関係について

5.31 高天原とは何か

5.32 経津主大神とは何か

5.33 「天津国津・東西の神宮とカミ・ヌシの関係」表

5.34 神宮をやまとことばで読み解く

5.35 鹿嶋灘を前にしてある東の一之鳥居の立つ明石が浜に南太平洋から一族・部族を率いて最初に上陸した、その意義では(in this sense)本当のハツクニ・シラス・スメラ・ミコトの本名はなんといふのか

5.36 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

5.37 大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか

5.38 アメの岩屋戸はどこにあるのか

5.39 天照大御神が凹に「さし籠もりましき」とある意味

5.40 アメの安の河と安の河原はどこにあるのか

5.41 アメの安の河原に集ふた神々とは何か、どんな神か、そして何故そんなことをするのか

5.42 鹿島神宮を初めてお参りした時に八咫鳥の現れた話

5.43 高天原の生活は如何なるものか

5.44 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲

5.45 日高見国と播磨国関係：ダイダラボッチ

5.46 日本とは何か

5.36 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

この「香取市の地形 地形と歴史 歴史とともに考える」といふ香取市の行政の制作した動画を見て此の論をなすものです。

香取市の地形 地形と歴史 歴史とともに考える

https://www.youtube.com/watch?v=hJmx5ZrWk_k

以下、順を追って話を進めます。

1. 神宮であることの根拠は何か？

これは、海の民の形而上学に依つて、その地が高天原であることが其の第一の根拠である。これはタカ・天の原と、タカ・天が原の示す範囲と違ひを、東一の鳥居の立つ海側はるか彼方がタカ・天の原、砂浜にたつて東一の鳥居の島の（今は陸地ですが）こちら側がタカ・天が原、そして、タカ・天の原の天（あま）は海の海と星辰と月即ち天之御中主の神のすべる世界、これに対してタカ・天が原は昼の海の、即ち太陽の、天照大御神のすべる世界だといふ説明を致しました。さて、そこで、

2. 神宮であるとは何を意味するか？

式年遷宮を行ふヤシロであることを意味する。以前は鹿嶋神宮も伊勢神宮同様に式年遷宮を執り行つてみたし、香取神宮もまた同様に式年遷宮を執り行つてみたので、これが神宮と呼ばれるヤシロであることの資格であり格式であつたことが解ります。それでは、

3. 大祓へはいつから高天の原に奏上されてみたのか？

大祓への記述から、箱根神社の祭神の一柱に、木花之開耶姫があり、これは既述の通り、箱根の神山の美しかったカルデラ凹を女性のカミと見立てたものですから、このカルデラが爆発によつて崩落して今の形状になつたのが、3100年頃といふのであれば、この大祓へのとなへられた時期は、遅くとも3100年以前といふことになります。

また、冒頭リンクを示した動画によれば、香取神宮遺跡の年代の特定は最も古いもので縄文中期から、縄文後期とありますので、今から5000年前から4000年前。といふことは、最古で5000年前から、最新で3100年前には遅くとも、香取神社の祖型といふべきか、はたまた原型といふべきか、そもそものカトリのミヤシロは此の地にあつたといふことになります。

といふことは、香取・鹿嶋は前掲の「概念図」からみても一体でありますから、香取がさうならば鹿嶋も同時期にあつたと考へることになります。



香取市の地形 地形と歴史 歴史とともに考える

また、鹿島市のこの動画の画像を見ますと、太古の地形の地図で今の二つの鹿嶋・香取神社の神域の、利根川を間に挟んで対称的にあるといふことの相応しい地形は6000年前の地図以降といふことになりますので、最古の最古で6000年前、そして次に5000年前以降、それから3000年前か3100年までの間に原型としての鹿島神宮があつたといふ推定ができます。



香取市の地形 地形と歴史 歴史とともに考える

その時香取神宮の原型もあつたと考へてもおかしくないのは、もつと利根川が二つの地域の間を割って入るやうな今の地形に近くなつた時期だと考へます。その時二つが同時にできたか、それとも鹿嶋・香取に先後があつたかは、もつと古地図を見る必要があります。最初のすめらみことが上陸した地が鹿嶋でありますから、もし時差があるならば、まづ鹿嶋のヤシロができ、次に香取の順序だと考へます。

さて、香取神社と香取の地に焦点を合はせると、現在の地形に当時の集落遺跡を茶色で示してあるのが、この地図です。地形から見て、今の香取と鹿嶋です。今から1000年前の鹿嶋と香取といふ説明ですので、この時期の時間を念頭に置いてご覧下さい。

住居跡の遺跡 歴史のある集落

水田と畑、燃料を得られやすい
洪水の被害を受けにくい
地盤が安定している
飲み水を得られやすい



8:22 / 8:49

香取市の地形 地形と歴史 歴史とともに考える

すべて

視聴済み

...pdf

macx-youtube-....dmg

削除しました

これに、香取の古墳群のある面積を示しますと、やはり海といふか内海の海に接した海岸線に古墳群の位置してあることがわかります。もし上掲の地図のうち二つの茶色の面積のうち上の方に今の香取神宮が位置してあるならば、やはり今は陸地ですが当時は鹿嶋神宮の東の一の鳥居と同様に海の水の中に今の一の鳥居も立つてみたこととせう。これは要検討課題とします。

もぐら通信

竹駒神社に奉納する

最後に、今から1000年前のやはり地図に上乗せした香取神宮の神域を赤い線で囲った地図を掲示します。



香取の海に面して、香取神宮の神域の中に海側の陸地にそつて古墳群が残つてゐるといふことですから、同様に鹿島神宮の神域の海に即ち香取の海に面した陸地・浜辺側にも古墳群があると推定することができます。これも要検討課題とします。この地点には海辺に今も西の一の鳥居が立つてゐます。

5.37 大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか

(続く)

東ドイツ回想記

(2)

何故わたしは東ドイツに行つたのか

岩田英哉

何故わたしは東ドイツに行つたのか

私が「専門嘱託」として雇用契約を結んだ東洋エンジニアリング株式会社 (Toyo Engineering Corporation、略称TEC) との契約書を今見ると、契約締結日は昭和54年7月9日付で双方署名の契約日と契約発効日は同一の日となつてゐる。雇用期間は一年ごとの更新であつた。まづ一と月本社西船橋の翻訳・通訳の専門家たちの部屋にゐて、実務的な翻訳をして或る程度仕事に慣れてから行つてもらふよと日本側の管理職に言はれて出立した記憶があり、その通りの日程が実行されたことも覚えてゐるので、現地に着任したのは、1979年8月である。1982年3月末の帰国であれば、足掛け4年といふことになります。

私の採用試験の担当面接官はエグリーさんといふスイス人であつて、なるほどスイス人の名前をしたスイス人であつた。姓の末尾の-liといふのは、子供のころ教わつたスイスの歌で、おお、ブレネリ、あなたのお家は何処？私のお家はスイツランドよ、といふ歌と同じBrenelliの-liです。エグリーさんは日本に長く、日本語が達者な人であつた。ドイツ語であるべき面接が日本語でした。試験は独文和訳で、目の前で答案を読んで、合否を判定して、私は合格したらしかつた。入社してから雑談をこれも日本語でしてゐて、ニッカ・ウイスキーの黒ラベルにあるあの男の人は、僕のお祖父さんだよ、といつたことがあるが、成程、エグリーさんは顎髭を伸ばしてゐて、本当に此のお祖父さんそつくりであつた。



エグリーさんのお祖父さん。当然、この人の名前はエグリーさん。この衣装から見て、スイスの貴族か裕福な中産階級の身分で市政に携はる名誉ある地位を授かつた人かと思はれる。



だから、日本で何処かの店に入つて、棚に此のブラックニッカの瓶のラベルの肖像画を見ると、私はいつもエグリーさんを思ひ出す。

さて、採用されて一と月後に着いた此の町の名前はSchwedt/Oder、シュヴェート/オーダーといふ。オーダー川のそばのシュヴェート、まあ、オーダーなるシュヴェートといふ意味です。これに対して西ドイツには、日本人にも知られてゐるフランクフルト/オーダーといふ、同じオーダーといふ名前の、オーダーなるフランクフルトといふ今はドイツ一国のみならずヨーロッパでも大きな商業と金融の中心都市があります。

ですから、西にはオーダー河が、東にはオーダー川が今でもあるのです。西のオーダー河には船が往来してゐるが、東のオーダー川の川幅は小さくて、川の透明な国境である中央線の向かうを舁（はしけ）が、多分石炭を積むものであらう、この平たい舟が、私が日曜日の天気の良い日に川辺の草むらに寝転んでゐると、こちらの東ドイツ側に決して入ることなく、ポーランド側を機関の音を立てて上流へと進んで行くのであつた。

川の向かうには農地があつて、ポーランド人の農夫が畑を鋤（す）いてゐるのが見えるし、そばにゐるポーランドの牛がもおーと鳴くと、その鳴き声が川風に乗つて、私のところまで聞こえて来るのであつた。私の寝転んでゐるその直ぐ側に橋が架かつてゐて、ポーランドからシュヴェートの中心街へ買ひ出しに来るバスがやつて来てゐた。東ドイツ側からポーランドにドイツ人が行かないのは、海外への出国が禁止されてゐるからである。東ドイツの憲法には国民は海外渡航の自由が書かれてゐたが、現実には許可が降りないのである。この虚実、現実には海外旅行などできないことと、従ひ憲法に嘘が書かれてゐるといふことは、私のこのやうな憲法問題と現実の関係を考へるための勉強になつた。このことと現行日本国憲法の間を話すことができるが、ここでは本題に筆を留めます。要するに日本の国によく似てゐるのだ。

海外へ出ようとするとなることの出来るのは東欧圏だけなのであり、それも計画書を事前に当局に提出し行く先々の投宿先の詳細とこれも詳細な旅程を届け出なければ海外に出られないのである。

この、私の寝そべつて眺めてゐた川が国境なのである。しかし、そこは大陸国家の厳しさ、国境は機関銃を持った兵士が国境の警備小屋に警備をしてゐて、日本人の事務職の人であつたかエンジニアであつたか、国境の此の写真を撮つたら警備兵に咎められて、カメラからフィルムを引き出されて感光して戻されたといふことであつた。其の先は逮捕か射殺であらう。この感覚を私は今でも持つてゐるが、普通日本に住んでゐると、これが実感として理解ができないことが困つたことなのだ。隣に外国人がゐたら其の現実が何を今意味してゐるのか、意味し得る

のかといふ教育と訓練（実習である）が、学校教育にも必要だと私は思つてゐる。英語を小学生に教へるとはさういふことである。要するにコミュニケーションの教育である。この身の危険を感じる異質感の訓練と抱き合わせならば英語の授業も小学生からしてよいかもしいないが、それができないならば（そしてそんな教育は子供にはできないだらう）、もつと大きくなつてからでも遅くはないどころか、その方が良いのです。即ち日本語が確立してから外国語を学ぶべきなのです。なぜなら、日本語ができなければ外国語はできないからです。わたしがどうやつてドイツ語を我が身のものにしたかは（実はまだまだであるのだが）、その苦心惨憺と一緒に併せて、後述します。学ぶとは我が身のものにするといふことです。この皮膚感覚については、まあ、私の場合は、自分で自分の身に刺青を彫るやうなもの、自分で自分の身に外科手術を施すやうなものでした。

ルクセンブルクから毎週西ベルリンから部品を運んで納入しに来る態度も口癖も悪い若者がゐて、到着のたびに私が税官吏と税関検査に立ち会つたが、この子供が幾つもの言語を話してゐたのは、この小国がヨーロッパの中で外国語ができなければ商売をして生きて行けないからだ。日本人は日本の国にゐて、この国で生きるために外国語を必要としない。日本にゐて動機がなければ外国語の習得はない。そして、それで良いのだ。私の動機については後述する。

さう云へば、ソヴィエト軍の戦車がアフガニスタンから撤退した直後に、戦ひと戦車の粉塵さめやらぬといふのに、ゲーテ協会の50代後半か60代初めのドイツ人の女性の講師が首都カブールに入つてドイツ語の授業を始めてゐる映像を、東ドイツ製のTVのブラウン管の向かうに見て大変驚いたことがある。その驚きの理由は二つあつて、一つはこんな高齢の婦人が戦争直後の現場に踏み行つてドイツ語といふ母国語を外国人に、それもアフガニスタンといふ遠い国に行つて語学教育を直ぐにしてゐるといふこと、もう一つは、その後の映像にこれも白黒で映つたアフガニスタンの十歳になるかならぬかの少年がドイツ人記者のインタビューを受けて、実に速度の速い達者なドイツ語を速射砲のやうに口から吐き出してゐたことである。後者の映像を見ながら、何故こんなにドイツ語が上手に話せるのだらうと考へて思つたのは、この小さな辺鄙な国では、ドイツ語といふ外国語を学ぶと国外へと出られるか、国内であれ良いお金になる手立てが見つかるのか、要するに生きるためにドイツ語を必要としてゐるからなのだらうといふことでした。日本にも赤坂にゲーテ協会があります。このドイツ語を教授する協会のドイツ人の講師は外交官と同等かこれに準ずる待遇と資格を国家から授かつてゐた。そのせいも大いにあるが、私が通つた当時のドイツ人の教師の態度は皆尊大で、如何にもドイツの役人とは、ドイツではこんなものなのだらうと思つた。

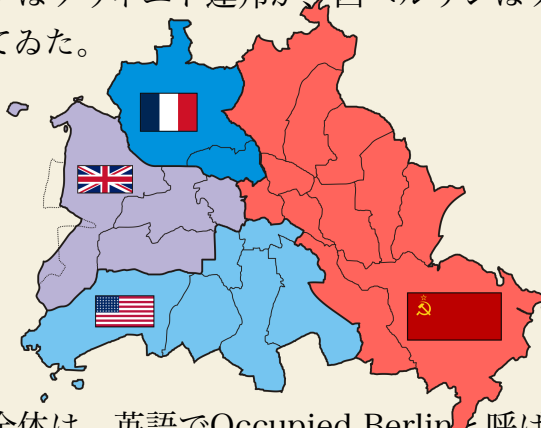
当時はドイツは西ドイツと東ドイツと通称される二つの国に分かれてゐた。西ドイツは民主主義の政治の、東ドイツは共産主義の政治の国であつた。そして、1961年8月13日午前0時にベルリンの壁が東側によつて構築されて〔註1〕、此の首都が東西の陣営に二つに分断されてゐたのみならず、更にベルリンといふかつてのドイツの首都は東西のベルリンに二分されたのである。ベルリンといふ都市自体は、その二つに壁によつて分かれたままで東ドイツの中に位置することになつて、西ベルリンは従ひ東ドイツの中にあるといふ、この複雑な国と西ベルリンの配置関係を説明すると、今の50代でも私の経験談を話すときに此の話をすると相手が混乱したことがあるので、後生のために地図を示すと次のやうな国土であつた。この間、西ドイツの首都はボンであつたが、一度訪ねたことがあるが、駅舎も小さくて、本当に田舎の町でした。

〔註1〕

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ベルリンの壁>



上の地図のうちの赤い部分が西ベルリン、それ以外の白い部分が東ベルリン。この東西ベルリンの周囲が東ドイツ（正式な国名はドイツ民主共和国）、この東ドイツの左に柔らかな薄い黄色で塗られた領域が西ドイツです。東西ベルリンに焦点を当てて虫眼鏡で見るとベルリンの全体は次の通りに軍事的な管轄に分けられてゐた。当然東ベルリンはソヴィエト連邦が、西ベルリンはフランス、イギリス、アメリカが管轄してゐた。



この軍事的分割管轄の全体は、英語でOccupied Berlinと呼ばれてゐた。さうであれば、今もアメリカ軍のゐる日本は、明らかにOccupied Japanである。そして、

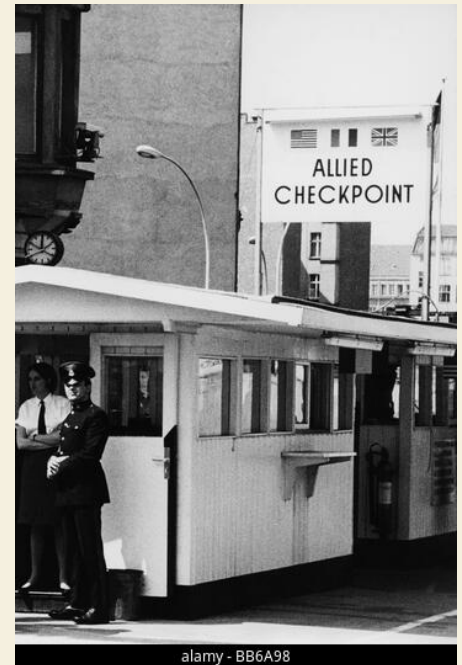
筆が横にそれますが、このやうに、日本は文字で日本語で書かれ得るべき言葉と現実とを見失つて、言葉と現実の関係が混乱して意識不明になり、言葉と日本語の正しい使ひ方を忘れてしまつて、そのまま眠りこけてもう80年近くになるのだ。ベルリンは今ではもうOccupied Berlinではないが、さてしかし、ドイツの国の政府と官僚の方がEUとダボスのプロパガンダによる共産主義即ち看板にはグローバリズムと書かれた共産主義に侵されて、国家主権の最たるものである関税自主権と政治的意志の発露たる国家主権発動意志をEUに奪われ、且つ環境保護カルト・再生エネルギー・カルトといふイデオロギー・カルトに侵されて、東西のベルリンがさうであつたやうに実質にはOccupied Germanyになつてしまつてゐる惨状は、対ロシア制裁をして我が身にブーメラン効果が及んでからのドイツの首相以下大臣や政治家たちの慌てふためいた、イデオロギーに囚われてゐて論理性を欠いてゐるために議論の収斂しない様子をネットの動画で見ると、もはや政治的な判断能力を失つた烏合の衆と化した連邦議会の中の代表者たちである。皮肉なことに、Germany Occupied by Davos and EU and Americaである。

さて、我が国、日本の実質は如何に。私は、アメリカ軍は日本から出ていけとはつきり主張して（言ひ方には硬軟はあらうが）、其のための解決策を提示することのできない人間を、政治家であれ、評論家であれ、学者であれなんであれ、幾ら保守を自称したところで、保守であるといふことはできないのだと考へてゐる。前提を疑へ、与件を疑へ、現実を疑へ。といふことである。味噌と糞は違ふのだと、自分の脳味噌に語りかけよ。莊子のやうに、自分が夢に胡蝶であるのか、胡蝶に見られた夢の自分であるのかを考へよ。さう、私は糞に夢見られた日本人ではないのか？それとも味噌に夢見られてゐるのか？

さういへば、ハイデルベルクに当時住んでゐたドイツ人の友人ハインツ・ハスラーとの会話を思ひ出す。この友は二十六歳の時からの年長の友である。このやりとりは、その後も繰り返し日本の日常で思ひ出すことがあるのだ。それは、ハインツの案内して私に見せてくれたドイツの現実であり、いふまでもなく、アメリカ軍のドイツ国内駐留の話です。しかしこの話をするとまたまた話が本筋から逸脱するので、この後どこかで其の文脈が現れたら話すことにして、本筋の道を急ぐ。何故わたしは東ドイツに行くことにしたのか？といふ話である。私の東ドイツ体験は、ジャガイモを掘ると同じで、一つ掘り出すと、後から後から一杯芋蔓式に地上に出てくるのだ。芋が全部蔓で結ばれて、その総体を成してゐるのです。だから、この回想記は回想記ではなく、私に今も生きてゐる共産主義国家での経験は、そのまま非常に厳しい「戦後」日本批判または「戦後日本」批判になるのです。

さて、当時のベルリンの検問所は、チェックポイント・チャーリーと呼ばれて

下記の赤い矢印のところにあつて、私が東ドイツから西ベルリンに、また西ドイツに行くときにいつも通つてみた検問所である。



チェックポイント・チャーリーといふ名前は、この占領下の時代のアメリカ軍の司令官の名前をとつたもので、面積は日本とは小さいので比較にはならぬが、さしづめチェックポイント・マッカーサーといふことです。日本ではいまだにこのチェックポイント・マッカーサーが生きてみて言論の自由を、といふよりも思考の自由を日本人から奪つてゐるのは、周知の通り。だから、日本人はいつもふらふらしながら西ベルリンからチェックポイント・マッカーサーを通つて言論検問所を通り、東ベルリンに入り、また東ドイツの日本人はチェックポイント・マッカーサーを通つて検問なしに西ベルリンに入る。といふ体たらくである。日本には東京の壁があるのだ。この検問所と壁を何とか破壊しなければならない。



(続く)

(

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集子自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。